

令和6年度 一般会計決算附属資料

健康長寿福祉部 主要な施策の成果

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	529千円		582千円	53千円	90.8 %			
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課	
	事業	02 行旅死亡人等取扱事務					1,289千円			
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府負 行旅死亡人取扱費負担金 353千円					
					諸収入 行旅死亡人等遺留金 1千円					
目的	市内において、旅行中に病気になり救護者がいない方や死亡し引取者のいない方に対し、縁故者に代わって援助措置を行う。									
主要な事務・事業の概要	○「行旅病人及行旅死亡人取扱法」に基づくもの		161千円		○「墓地、埋葬等に関する法律」に基づくもの				368千円	
	京丹後市内において死亡した身元の分からない方に対し、行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき、所在地の市町村が取り扱うことが規定されている。 該当者（1体）について、火葬等を行い、官報公告を掲載した。				京丹後市内で死亡した葬祭、埋葬をする者がいない又は判明しなかった方に対し、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、死亡地の市町村がこれを行わなければならない。 該当者（3体）について、火葬等を行った。					
	・遺骨保管謝金 30千円		30千円		・消耗品費（棺、骨箱等） 182千円		182千円			
・消耗品費（棺、骨箱等） 60千円		60千円		・遺体処置料 44千円		44千円				
・遺体処置料 11千円		11千円		・遺体搬送料 36千円		36千円				
・遺体搬送料 15千円		15千円		・火葬料 30千円		30千円				
・火葬料 30千円		30千円		・死体検案書作成手数料 76千円		76千円				
・死体検案書作成手数料 15千円		15千円								
				成果・課題	行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき、事務を適正に執行できた。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,400千円		1,401千円	1千円	99.9 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	03 ぐらしの資金貸付事業					1,210千円		
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	諸収入 ぐらしの資金貸付金元金収入 1,124千円					
目的	一時的に生活の不安定な低所得世帯、又は債務整理による生活再建に際し一時的に生活が困窮している世帯に対し、ぐらしのために緊急に必要とする資金の貸付けを行い、世帯の自立を助長し、生活の安定を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○ぐらしの資金貸付金 1,245千円								
	貸付を希望する一時的に生活が不安定な世帯に対し、面談による状況聴取を行い、申請を受け付け、貸付審査会の審査を経て資金の貸付を行った。								
	≪貸付実績≫								
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	申請件数	3件	6件	13件	17件	16件			
貸付件数	3件	4件	6件	14件	11件				
貸付金額	300千円	310千円	550千円	1,420千円	1,245千円				
○貸付金管理台帳システム委託料（保守） 155千円									
			成果・課題	○一時的に生活が不安定になった世帯に対し、緊急的に貸付を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。 ○収入や一時的な困窮などの対象要件に合致しない場合には、他の支援につないだ。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費	22,251千円		22,313千円	62千円	99.7 %																										
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																								
	事業	05 民生児童委員活動事業					22,719千円																										
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金			12,025千円																								
目的		民生委員・児童委員の活動を支援するため、費用弁償等の活動費、地域福祉活動促進費等の補助金を交付し、委員活動の充実を図る。			府補	民生児童委員協議会会長活動費補助金			72千円																								
				府補	民生児童委員協議会地域福祉活動促進費補助金			1,018千円																									
主要な事務・事業の概要	○研修会等経費		501千円		○民生委員・児童委員活動費補助金					21,750千円																							
	・旅費		1千円		<table><tr><td></td><td>委員数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>41人</td><td>4,439千円</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>31人</td><td>3,382千円</td></tr><tr><td>網野町</td><td>45人</td><td>4,833千円</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>26人</td><td>2,857千円</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>19人</td><td>2,123千円</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>38人</td><td>4,116千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>200人</td><td>21,750千円</td></tr></table> ※3か月1人欠員						委員数	補助金額	峰山町	41人	4,439千円	大宮町	31人	3,382千円	網野町	45人	4,833千円	丹後町	26人	2,857千円	弥栄町	19人	2,123千円	久美浜町	38人	4,116千円	合計	200人	21,750千円
		委員数	補助金額																														
	峰山町	41人	4,439千円																														
	大宮町	31人	3,382千円																														
	網野町	45人	4,833千円																														
	丹後町	26人	2,857千円																														
	弥栄町	19人	2,123千円																														
	久美浜町	38人	4,116千円																														
	合計	200人	21,750千円																														
・有料道路通行料		5千円																															
・バス運転委託料		186千円																															
・消耗品費		10千円																															
・燃料費（マイクロバス、公用車）		26千円																															
・バス借上料（全員研修会、各種研修会）		224千円																															
・会場借上料		42千円																															
・冷暖房借上料		5千円																															
・機械器具借上料		2千円																															
■市民生児童委員協議会実施研修会（全員研修会）		※委員の任期：令和4年12月1日～令和7年11月30日																															
日付：令和6年10月26日 場所：アグリセンター大宮																																	
参加者数：151人																																	
■単位民生児童委員協議会実施研修会等		<table><tr><td>町域</td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td></tr><tr><td>回数</td><td>9回</td><td>8回</td><td>13回</td><td>9回</td><td>5回</td><td>3回</td></tr></table>								町域	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	回数	9回	8回	13回	9回	5回	3回										
町域	峰山町									大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町																			
回数	9回	8回	13回	9回	5回	3回																											
■その他		主任児童委員研修会、中堅リーダー研修会、代表者研修会等への参加																															
				成果・課題	○民生児童委員活動に補助金を交付し、活動を支援した。 ○全員研修会を実施し、民生児童委員の資質向上を図った。 ○複雑なケースが増加する中、民生児童委員に求められる知識は非常に幅広くなっているため、今後も研修や委員同士の交流を充実していく。																												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	866千円		877千円	11千円	98.7 %			
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課	
	事業	06 戦没者追悼事業					847千円			
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	府補 援護事務交付金（10/10）63千円					
目的	戦没者を追悼し、平和を祈念するため、全国戦没者及び京都府戦没者追悼式へ参列するとともに、京丹後市戦没者追悼式を開催する。									
主要な事務・事業の概要	○全国戦没者追悼式（参列者数：4人）		40千円		○第十二回特別弔慰金に係る準備経費10千円					
	開催日：令和6年8月15日				・旅費（職員旅費）4千円					
	場 所：日本武道館（東京都）				・使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）6千円					
	・参列者旅費（参列者乗車駅～京都駅）				○その他援護事務に係る経費63千円					
		※京都駅～東京駅の交通費は府負担				・需用費等（消耗品費、通信運搬費）				
○京都府戦没者追悼式（参列者数：61人）		3千円								
開催日：令和6年10月16日										
場 所：国立京都国際会館（京都市）										
・旅費（随行職員旅費）										
○京丹後市戦没者追悼式（参列者数：203人）		750千円								
開催日：令和6年11月13日										
場 所：京都府丹後文化会館										
・需用費（祭壇、燃料費）		284千円		成果・課題	○戦没者を追悼し、遺族を感謝激励するとともに、世界の恒久平和を願うことができた。 ○戦没者等の遺族に対する第十二回特別弔慰金受付開始に向けた準備を行った。 ○戦後80年が経過し、いかに戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを語り継いでいくのかが、大きな課題となっている。 ○戦没者遺族の高齢化に伴い、戦没者追悼式の参列者が減少していることから、開催内容等について、検討する必要がある。					
・役務費（クリーニング代ほか）		60千円								
・委託料（送迎用マイクロバス運転委託料）		35千円								
・使用料及び賃借料（送迎バス借上料、会場借上料）		371千円								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																			
	項	01 社会福祉費	69,233千円		69,233千円	0千円	100.0 %																					
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																			
	事業	08 社会福祉協議会運営費助成事業					69,233千円																					
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源																								
目的		京丹後市社会福祉協議会の事務職員の人件費補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、地域福祉活動の充実を図る。																										
主要な事務・事業の概要	○社会福祉協議会運営費補助金 69,233千円																											
	※社会福祉協議会の事務職員の人件費（補助対象職員：17人）																											
		<table><tr><td></td><td>補助対象職員数</td><td>補助金</td></tr><tr><td>R元</td><td>19人</td><td>66,840千円</td></tr><tr><td>R2</td><td>17人</td><td>71,264千円</td></tr><tr><td>R3</td><td>17人</td><td>65,265千円</td></tr><tr><td>R4</td><td>18人</td><td>69,674千円</td></tr><tr><td>R5</td><td>17人</td><td>68,238千円</td></tr><tr><td>R6</td><td>17人</td><td>69,233千円</td></tr></table>				補助対象職員数	補助金	R元	19人	66,840千円	R2	17人	71,264千円	R3	17人	65,265千円	R4	18人	69,674千円	R5	17人	68,238千円	R6	17人	69,233千円			
	補助対象職員数	補助金																										
R元	19人	66,840千円																										
R2	17人	71,264千円																										
R3	17人	65,265千円																										
R4	18人	69,674千円																										
R5	17人	68,238千円																										
R6	17人	69,233千円																										
		社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進」を目的とする社会福祉法人。市が策定した「地域福祉計画」と密接な関連を持ち、福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取組を進めている。																										
					成果・課題	社会福祉協議会本所（弥栄支所含む）及び5支所の事務職員人件費の補助を行うことで、協議会の円滑な運営に寄与するとともに、地域福祉活動の充実を図ることができた。																						

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																						
	項	01 社会福祉費	210千円		210千円	0千円	100.0 %																								
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																						
	事業	09 災害見舞金等事業					350千円																								
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源																											
目的		災害（風水害・火災等）により被災された市民に対し、見舞金を支給する。																													
主要な事務・事業の概要	○災害見舞金 110千円				○令和6年能登半島地震被災者見舞金 100千円																										
	・火災によるもの：3件				令和6年能登半島地震の被災により被災地から避難し、京丹後市内に居住することとなった被災者の生活を支援するため、見舞金を支給した。																										
	<table><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td colspan="2">全 焼</td><td colspan="2">部分焼</td></tr><tr><td>件数</td><td>見舞金</td><td>件数</td><td>見舞金</td></tr><tr><td>住</td><td>家</td><td>1件</td><td>50千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>非</td><td>住 家</td><td>2件</td><td>60千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr></table>						全 焼		部分焼		件数	見舞金	件数	見舞金	住	家	1件	50千円	0件	0千円	非	住 家	2件	60千円	0件	0千円	100千円（定額）×1件＝100千円				
			全 焼				部分焼																								
件数			見舞金	件数	見舞金																										
住	家	1件	50千円	0件	0千円																										
非	住 家	2件	60千円	0件	0千円																										
				成果・課題	京丹後市災害見舞金等支給要綱及び令和6年能登半島地震被災者見舞金支給要綱の規定に基づき、災害見舞金等を支給することで、被災者の生活を支援することができた。																										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 社会福祉費	18,472千円		18,886千円	414千円	97.8 %																				
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																		
	事業	11 峰山総合福祉センター管理事業					14,789千円																				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	使用料	峰山総合福祉センター使用料 604千円																					
					使用料	公有財産使用料 48千円																					
目的		福祉事務所としての峰山総合福祉センターの維持管理のほか、市民や各種団体に会議・イベント等で幅広く活用していただけるよう設備機能を維持管理する。																									
主要な事務・事業の概要	○峰山総合福祉センター維持管理経費		18,472千円		[参考]																						
	・消耗品費（清掃・衛生消耗品、蛍光灯ほか）		292千円		峰山総合福祉センター利用実績（R6年度受付分）																						
	・燃料費（冷暖房用灯油代）		2,631千円		<table><tr><td></td><td>利用件数</td><td>利用人数</td></tr><tr><td>コミュニティホール</td><td>209件</td><td>6,814人</td></tr><tr><td>研修室</td><td>99件</td><td>2,758人</td></tr><tr><td>和室1</td><td>36件</td><td>2,629人</td></tr><tr><td>和室2</td><td>27件</td><td>2,050人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>371件</td><td>14,251人</td></tr></table>						利用件数	利用人数	コミュニティホール	209件	6,814人	研修室	99件	2,758人	和室1	36件	2,629人	和室2	27件	2,050人	合 計	371件	14,251人
		利用件数	利用人数																								
	コミュニティホール	209件	6,814人																								
	研修室	99件	2,758人																								
	和室1	36件	2,629人																								
	和室2	27件	2,050人																								
	合 計	371件	14,251人																								
	・光熱水費（電気、上下水道）		5,227千円																								
・修繕料		4,257千円																									
（防災監視盤修繕、空調設備修繕、消防設備修繕ほか）																											
・通信運搬費（FAX通信料、火災通報用回線通信料）		111千円																									
・手数料（貯水槽法定検査、地下タンク検査ほか）		244千円																									
・日直代行業務委託料（業務時間外・休日・祝日貸館対応）		1,506千円																									
・施設清掃委託料（センター内清掃）		495千円		※利用件数及び利用人数は、利用申請書による延べ数																							
・設備維持管理及び保守点検業務委託料		2,423千円																									
（エレベーター保守、自家用電気工作物保安管理、消防設備点検ほか）				成果・課題 ○適正な施設管理により福祉事務所の機能維持を図るとともに、総合福祉センターとして市民や各種団体に幅広く利用してもらい、市民の健康づくりと福祉の充実を図ることができた。 ○施設の老朽化が進んでいるため、修繕をし、維持管理をしていく。																							
・土地借上料（公用車駐車場403㎡）		275千円																									
・清掃用具借上料		23千円																									
・工事請負費（舞台機構設備撤去工事）		880千円																									
・備品購入費（消火器17本、ワイヤレスマイク1本）		108千円																									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	600千円		600千円	0千円	100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	16 介護福祉士養成奨学金貸与事業					1,200千円		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	諸収入 介護福祉士養成奨学金返還金 600千円					
目的	市の福祉体制の充実を図るため、本市域の福祉施設において介護福祉士として従事しようとする意思を有する者に対して奨学金を貸与する。								
主要な事務・事業の概要	○介護福祉士養成奨学金貸与金 600千円 将来、市内の福祉施設に介護福祉士として勤務する意思を有する者に対し、奨学金を貸与した。 対 象 者：介護福祉士を養成する学校等に入学予定又は在学中の者 貸 与 者：1人 貸 与 額：600千円（50千円/月） 貸 与 期 間：令和6年4月～令和7年3月（2年目）（最大2年間） 返 還 の 免 除：介護福祉士の資格を取得し、京丹後市内の介護事業所や障害福祉サービス事業所に一定期間勤務した場合は、貸与金の返還を免除。				成果・課題	将来、本市において、介護福祉士として介護等事業所への就業促進を図るため、本事業の周知・広報活動を強化し、制度利用者を増やす必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	2,802千円		2,829千円	27千円	99.0 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	17 権利擁護支援体制整備推進事業					2,725千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補	生活困窮者自立支援補助金（1/2）		10千円	
目的	成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、判断能力が十分でない高齢者、知的障害者及び精神障害者等が、成年後見制度をはじめとした権利擁護支援を円滑に受けられる体制づくりを行い、身近な住み慣れた地域で安心して生活できる「ささえあい」による権利擁護の推進を図る。		国補		障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）		237千円		
			府補		障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）		118千円		
			府補		地域医療介護総合確保事業費補助金（10/10）		1,940千円		
			主要な事務・事業の概要		○普及啓発・担い手養成事業の実施 ・普及啓発・担い手養成事業委託料 委託先：京丹後市社会福祉協議会 事業内容： ① 出前講座の開催（5回、延べ参加者数90人） ② 権利擁護支援啓発講座の開催（1回、参加者数39人） ③ 啓発パンフレットの配布 ④ 支援者養成講座の開催 内容：フォローアップ講座（1回、参加者数8人） スキルアップ研修（1回、参加者数8人） ○相談支援体制等に関する経費 ・アドバイザー謝金（1回×3人） ・備品購入費（スピーカーフォン拡張マイク1セット）				
		○権利擁護支援体制あり方検討委員会開催 ・委員等謝金（報償費及び費用弁償） （委員7人×3回、オブザーバー10人×1回） ・消耗品費（事務用品） ・郵便代		172千円 158千円 9千円 5千円	成果・課題	○権利擁護支援体制あり方検討委員会での検討・連携のもと、専門職と協働して市民に向けた啓発講座の開催や支援者養成講座の開催など、権利擁護支援の体制づくりに取り組めた。 ○成年後見制度が必要となる人が増える中、近隣市町とも連携しながら、制度の普及啓発とともに、地域での見守りや担い手の仕組みづくりを継続して進める必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																													
	項	01 社会福祉費	795千円		832千円	37千円	95.5 %																															
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																													
	事業	18 介護人材育成支援事業					2,563千円																															
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																																		
目的		介護サービス又は障害福祉サービスに従事する介護職員の確保及び資質の向上を図るため、資格取得に係る研修受講料の一部を支援する。																																				
主要な事務・事業の概要	介護職員の資格取得に要する研修の受講費用に対して補助金を交付した。				主任介護支援専門員研修補助（補助率：10/10）98千円																																	
	○介護人材確保育成支援事業補助金（法人向け）769千円				<table><tr><td>申請法人</td><td>受講数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>（福）はしうど福祉会</td><td>1人</td><td>49千円</td></tr><tr><td>（福）太陽福祉会</td><td>1人</td><td>49千円</td></tr><tr><td>計</td><td>2人</td><td>98千円</td></tr></table>					申請法人	受講数	補助金額	（福）はしうど福祉会	1人	49千円	（福）太陽福祉会	1人	49千円	計	2人	98千円																	
	申請法人	受講数	補助金額																																			
	（福）はしうど福祉会	1人	49千円																																			
（福）太陽福祉会	1人	49千円																																				
計	2人	98千円																																				
【対象者】 下記に該当する職員に係る対象経費を負担した市内の介護事業所等を運営する法人 ①研修受講前から雇用している職員であること ②研修修了後、当該法人に3か月以上勤務した職員であること																																						
【対象経費】受講料、手数料、教材費																																						
・ 介護職員実務者研修補助（補助率：2/3、上限80千円）671千円				○消耗品費（周知チラシ用紙）26千円																																		
<table><tr><td>申請法人</td><td>受講数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>（福）みねやま福祉会</td><td>1人</td><td>80千円</td></tr><tr><td>（福）あしぎぬ福祉会</td><td>1人</td><td>80千円</td></tr><tr><td>（特非）いやしの郷ほっこ里</td><td>1人</td><td>80千円</td></tr><tr><td>（福）北丹後福祉会</td><td>1人</td><td>66千円</td></tr><tr><td>（福）ふるさとの会</td><td>1人</td><td>66千円</td></tr><tr><td>ゴダイ（株）</td><td>1人</td><td>51千円</td></tr><tr><td>（福）太陽福祉会</td><td>5人</td><td>212千円</td></tr><tr><td>（福）不動園</td><td>1人</td><td>36千円</td></tr><tr><td>計</td><td>12人</td><td>671千円</td></tr></table>				申請法人	受講数	補助金額	（福）みねやま福祉会	1人	80千円	（福）あしぎぬ福祉会	1人	80千円	（特非）いやしの郷ほっこ里	1人	80千円	（福）北丹後福祉会	1人	66千円	（福）ふるさとの会	1人	66千円	ゴダイ（株）	1人	51千円	（福）太陽福祉会	5人	212千円	（福）不動園	1人	36千円	計	12人	671千円	成果・課題	○介護・障害福祉サービス分野への就労及び介護職員の資質向上に寄与することができた。 ○更なる職員の確保等につなげていくため、本事業の周知・広報活動を強化する必要がある。			
申請法人	受講数	補助金額																																				
（福）みねやま福祉会	1人	80千円																																				
（福）あしぎぬ福祉会	1人	80千円																																				
（特非）いやしの郷ほっこ里	1人	80千円																																				
（福）北丹後福祉会	1人	66千円																																				
（福）ふるさとの会	1人	66千円																																				
ゴダイ（株）	1人	51千円																																				
（福）太陽福祉会	5人	212千円																																				
（福）不動園	1人	36千円																																				
計	12人	671千円																																				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率		部	健康長寿福祉部																		
	項	01 社会福祉費	99,198千円		99,202千円	4千円	99.9 %																					
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額		課	生活福祉課																		
	事業	21 低所得者世帯等臨時特別給付金給付事業					167,743千円																					
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 99,198千円																							
目的		エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい低所得世帯のうち、令和6年度に新たに住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯となった世帯に対して、1世帯当たり10万円を支給、また給付加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の児童1人当たり5万円を支給する。																										
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）		777千円		【概要】 基準日：令和6年6月3日																							
	○職員手当等（時間外勤務手当）		80千円		<table><tr><td></td><td colspan="2">住民税均等割非課税世帯（1世帯当たり）</td><td colspan="2">住民税均等割のみ課税世帯（1世帯当たり）</td><td>子育て世帯加算給付金（児童1人当たり）</td></tr><tr><td>給付額</td><td>100千円</td><td>70千円</td><td>100千円</td><td>70千円</td><td>50千円</td></tr><tr><td>給付件数</td><td>421件</td><td>100件</td><td>406件</td><td>4件</td><td>150件</td></tr></table>							住民税均等割非課税世帯（1世帯当たり）		住民税均等割のみ課税世帯（1世帯当たり）		子育て世帯加算給付金（児童1人当たり）	給付額	100千円	70千円	100千円	70千円	50千円	給付件数	421件	100件	406件	4件	150件
		住民税均等割非課税世帯（1世帯当たり）		住民税均等割のみ課税世帯（1世帯当たり）							子育て世帯加算給付金（児童1人当たり）																	
	給付額	100千円	70千円	100千円							70千円	50千円																
	給付件数	421件	100件	406件							4件	150件																
	○需用費（消耗品費、印刷製本費）		52千円																									
○役務費（通信運搬費、手数料）		206千円																										
○負担金、補助及び交付金		98,083千円																										
・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金		603千円		※令和5年度に住民税非課税世帯等臨時特別給付金において、30千円のみ支給した世帯に対して、70千円を支給																								
・住民税均等割非課税世帯に対する臨時特別給付金		49,100千円																										
・住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金		40,880千円																										
・低所得者の子育て世帯加算給付金		7,500千円		成果・課題	エネルギー・食料品価格等の高騰により様々な困難に直面した非課税世帯、低所得者世帯に対し、臨時特別給付金を支給することにより、速やかに生活・暮らしの支援を行うことができた。																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	209千円		225千円	16千円	92.8 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	22 健康と福祉のまちづくり審議会事業					444千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的	「重層的支援体制整備実施計画」、「第3次健康増進計画」について、健康と福祉のまちづくり審議会を設置し、計画及び計画の中間評価のための審議を行うもの。								
主要な事務・事業の概要	○健康と福祉のまちづくり審議会経費 209千円								
	・ 審議会委員報酬（4千円×延べ42人） 168千円								
・ 費用弁償 41千円									
主要な事務・事業の概要	＜健康と福祉のまちづくり審議会＞								
	委員数：16人								
委員任期：令和6年8月27日～令和7年8月26日									
諮問内容：■京丹後市重層的支援体制整備実施計画（案）について									
■第3次京丹後市健康増進計画の中間評価（案）について									
審議会：3回開催									
部会：重層的支援部会 4回開催									
健康づくり推進部会 4回開催									
				成果・課題	令和7年度からの事業実施に向けた「京丹後市重層的支援体制整備実施計画」の計画策定及び「第3次京丹後市健康増進計画」の中間評価について答申を受けることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部												
	項	01 社会福祉費	200,427千円		200,538千円	111千円	99.9 %														
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課												
	事業	23 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業					0千円														
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 200,427千円																	
目的		エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯のうち18歳以下の児童を養育する世帯に対して、1世帯当たり3万円を支給、また給付加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の児童1人当たり2万円を支給する。		主な財源																	
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）		585千円		【概要】 基準日：令和6年12月13日																
	○需用費（消耗品費、印刷製本費）		112千円		<table><tr><td></td><td>住民税均等割非課税世帯</td><td>住民税均等割のみ課税世帯</td><td>子育て世帯加算給付金（※）</td></tr><tr><td>給付額</td><td>30千円</td><td>30千円</td><td>20千円</td></tr><tr><td>給付件数</td><td>6,002件</td><td>101件</td><td>715件</td></tr></table>						住民税均等割非課税世帯	住民税均等割のみ課税世帯	子育て世帯加算給付金（※）	給付額	30千円	30千円	20千円	給付件数	6,002件	101件	715件
		住民税均等割非課税世帯	住民税均等割のみ課税世帯	子育て世帯加算給付金（※）																	
	給付額	30千円	30千円	20千円																	
	給付件数	6,002件	101件	715件																	
○役務費（通信運搬費、手数料）		1,737千円																			
○負担金、補助及び交付金		197,993千円																			
・ 京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金		603千円		※「子育て世帯加算給付金」は児童1人当たりの額																	
・ 住民税均等割非課税世帯に対する臨時特別給付金		180,060千円																			
・ 住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金		3,030千円																			
・ 低所得者の子育て世帯加算給付金		14,300千円		成果・課題																	
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		200,435千円																		
	実質的な予算執行率		99.9%																		
■令和7年度への繰越事業				エネルギー・食料品価格等の高騰により様々な困難に直面した非課税世帯、低所得者世帯に対し、臨時特別給付金を支給することにより、速やかに生活・暮らしの支援を行うことができた。																	
・ 低所得者の子育て世帯加算給付金（令和7年5月完了）		103千円																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部							
	項	01 社会福祉費	18,668千円		21,816千円	3,148千円	85.5 %									
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	生活福祉課								
	事業	50 社会福祉総務一般経費							14,927千円							
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源												
目的	福祉事務所運営を円滑に行うための経費や、母子寡婦福祉会、障害者団体などの活動に対し助成することにより、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加を促進し福祉の向上を図る。															
主要な事務・事業の概要	○社会福祉業務運営に係る一般経費		6,513千円		○補償金					3,070千円						
	・福祉事務所共通物品購入経費		2,766千円		令和5年度に社会福祉協議会に委託した生活困窮者相談支援事業及び地域共生推進委託事業の消費税相当額を、補償金として支払った。											
	（事務用品、封筒、事務機器消耗品ほか）															
	・公用車（18台）の維持管理経費		3,040千円		○旧丹後保健センター利活用事業					541千円						
	（修繕料、燃料費、自動車登録手数料、保険料ほか）															
	・職員旅費等（会議ほか）		296千円		・消耗品費					10千円						
	・近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会負担金		8千円		・除草作業委託料					479千円						
	・各種講習会受講負担金		254千円		・ごみ持込処理手数料					52千円						
	・安全運転管理者講習会負担金、運転経歴証明書手数料		12千円		<table><tr><td rowspan="2">参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>19,097千円</td></tr><tr><td>実質的な予算執行率</td><td>97.7%</td></tr></table>							参考	繰越明許費を除いた最終予算額	19,097千円	実質的な予算執行率	97.7%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	19,097千円													
実質的な予算執行率		97.7%														
・ごみ持込処理手数料		97千円		■令和7年度への繰越事業												
・その他経費（テレビ受信料、修繕料）		40千円		・旧丹後保健センター利活用事業												
○旧丹後保健センター管理経費		7千円		（令和7年8月完了）												
・光熱水費（電気）																
○会計年度任用職員任用経費（事務補助員・2人）		7,462千円		成果・課題	○福祉事務所の運営を円滑に実施することができた。											
○社会福祉団体事業補助金		1,075千円			○社会福祉団体へ補助金の交付を行うことにより、ひとり親家庭の自立の促進や障害者の社会参加の促進に寄与することができた。											
・母子寡婦福祉会活動補助金		408千円			○旧丹後保健センターについて、建物内外の清掃等を実施し、利活用に向けた準備を行った。											
・障害者団体活動補助金		667千円														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	20,898千円		21,229千円	331千円	98.4 %		
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	01 自立相談支援事業					18,111千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負 生活困窮者自立支援負担金（3/4） 13,756千円				
					国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3、1/2） 178千円				
					諸収入 寄り添い支援総合センター-光熱水費負担金 264千円				
目的	くらしやしごとに関して幅広い相談を来所・訪問・Webなどの方法で受け付けられる相談体制を整え、多様で複合的な問題を抱える生活困窮者に対して、個別的、包括的、かつ計画的な伴走型の支援によって自立の促進を図るとともに、生活困窮者支援を通じた地域内外のネットワークの構築により、支え合い、助け合う地域づくりを推進する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員4人） 16,850千円			《支援実績》					
	○その他経費 2,299千円			年度 新規相談者数（うち市民相談） 前年度から引き継ぎ数 プラン作成数 就労者数					
	・自立相談支援員研修経費（旅費、負担金等） 97千円			R3 264人（118人） 174人 302件 20人					
	・通信運搬費（電話、光ネットワーク、郵便） 495千円			R4 205人（97人） 217人 142件 18人					
	・相談支援等公用車経費（借上料、保険料、燃料費） 594千円			R5 229人（130人） 275人 112件 11人					
	・消耗品費（コピー料、事務消耗品） 178千円			R6 256人（142人） 364人 89件 23人					
	・光熱水費、灯油・ガス代 675千円								
	・コピー機借上料 47千円								
	・ソフトウェア使用料（ウイルス対策ソフト） 76千円								
	・Web相談用クラウドサービス利用料 21千円								
・備品購入費（自立相談支援員用ノートPC1台更新） 116千円									
○過年度国庫支出金返還金 1,749千円			成果・課題						
・生活困窮者自立相談支援事業費等国庫負担金			○来所による相談に加え、フリーダイヤルやLINE、庁内や関係機関及び地域事業所からの紹介や、総合相談会（5回開催）など、相談しやすい環境づくりに努めた。 ○伴走型支援によって、各種制度へのつなぎに加え、23人を就労につなぐことができた。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																				
	項	01 社会福祉費	243千円		243千円	0千円	100.0 %																						
	目	02 くらしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課																				
	事業	02 離職者等支援事業					1,045千円																						
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負 生活困窮者自立支援負担金（3/4）		135千円																						
					国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3）	42千円																							
目的		離職等により経済的に困窮し、住宅喪失又は住宅喪失のおそれのある方に対して住居の確保のために住居費を支給し、また、住居を喪失している方に対しては、緊急一時的に宿泊場所を提供するなど、再就労等に向けた居住支援を行う。																											
主要な事務・事業の概要	○離職者住宅支援給付事業補助金（家賃給付）				180千円		○緊急一時生活支援事業				63千円																		
	・新規申請分（1件 × 3か月）						・7千円（1泊3食） 1件 × 9日																						
	・令和5年度申請（1件 × 2か月）																												
		≪支援実績≫																											
		<table><tr><td>年 度</td><td>利用人数</td><td>利用月数</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>15人</td><td>42か月</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>18人</td><td>91か月</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>15人</td><td>56か月</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>4人</td><td>9か月</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2人</td><td>5か月</td></tr></table>				年 度	利用人数	利用月数	令和2年度	15人	42か月	令和3年度	18人	91か月	令和4年度	15人	56か月	令和5年度	4人	9か月	令和6年度	2人	5か月						
年 度	利用人数	利用月数																											
令和2年度	15人	42か月																											
令和3年度	18人	91か月																											
令和4年度	15人	56か月																											
令和5年度	4人	9か月																											
令和6年度	2人	5か月																											
		※令和5年度から繰り越し利用1人2か月 新規申請分1人3か月																											
						成果・課題		○住宅支援給付補助金について、社会情勢の変動等の影響により、離職等で住居を失うおそれのあった方に家賃相当額を給付することで、求職活動中における安定した住まいの確保を支援することができた。 ○離職等で住居を失った状態で相談に来られる方に対して、緊急一時的な生活拠点を提供することで、他制度等へのつなぎとして生活困窮者の自立を支援することができた。																					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	18,970千円		19,233千円	263千円	98.6 %		課
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額		
	事業	03 就労準備支援事業					18,463千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 12,227千円				
目的	「黒部の居場所ひまわり」を拠点に、直ちに一般就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対して、就労への準備として生活習慣の形成や社会性などの基礎能力向上、事業所等での就労体験などによる技術や知識の習得及び個々の適正の見極め等を計画的かつ一貫して支援する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員1人） 3,115千円			○その他事業運営経費 925千円					
	○就労準備支援事業委託料 14,300千円 委託先：労働者協同組合労協センター事業団 京丹後支所 ・通所型訓練による就労体験事業 利用者数：12人（生活困窮10人、生活保護2人） 延べ利用者数：581人 ・通所型訓練による居場所事業 利用者数：10人（生活困窮10人、生活保護0人） 延べ利用者数：422人 居場所セミナー開催 12回（延べ81人参加）			・相談支援等公用車経費（修繕料、燃料費、保険料等） 87千円 ・施設維持管理費（需用費、保険料、委託料等） 771千円 ・消耗品費 48千円 ・使用料（ソフトウェア使用料1台） 19千円 ○過年度国庫支出金返還金 ・生活困窮者就労準備支援事業費等国庫補助金 630千円					
				成果・課題	○居場所事業の利用から訓練事業の利用へのステップアップが困難な利用者へ、自立相談支援員による自前のセミナーを開催し、訓練へのステップアップができた。 ○就労訓練により5人は一般就労、9人は短期就労につなぐことができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	1,125千円		1,219千円	94千円	92.2 %		
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額		
	事業	04 子どもの学習支援事業						3,511千円	
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（1/2）563千円					
目的	学習支援員が生活保護受給世帯等のうち事業を利用する世帯を訪問し、子どもの基礎学力の向上や生活環境の整備を支援することにより、子どもの将来の自立を後押しし貧困の連鎖を防止する。								
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（学習支援員4人）		1,105千円						
	○その他経費		20千円						
	・ソフトウェア使用料（支援用PC ウィルス対応ソフト）		10千円						
	・消耗品費		10千円						
	《支援実績》								
	年 度	利用世帯数	小学生	中学生	延べ訪問回数				
	令和2年度	1世帯	0人	1人	12回				
	令和3年度	3世帯	1人	2人	41回				
	令和4年度	4世帯	5人	2人	61回				
	令和5年度	5世帯	8人	2人	156回				
令和6年度	6世帯	9人	3人	165回					
成果・課題	○支援員による個別訪問により、学習支援に加え基本的な生活習慣など継続的に支援することにより、学習習慣や生活環境の定着を促すことができた。また、定期的な訪問をすることで、見守ってくれる人がいるという子どもの精神的な安定につながった。 ○教育委員会など関係機関と連携を継続するだけでなく、就学から就労へ円滑に繋がるよう高等学校等とも引き続き連携を図る必要がある。								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費	8,112千円		8,113千円	1千円	99.9 %		課	生活福祉課																							
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額																										
	事業	05 家計改善支援事業					7,375千円																										
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主 な 財 源	国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 5,090千円																													
目的	生活困窮者の家計状況の把握、債務整理及び将来に向けたキャッシュフローの作成等を支援することにより、家計改善を図る。																																
主要な事務・事業の概要	○生活困窮者相談支援事業委託料 8,112千円 生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計にまつわる事業を実施している京丹後市社会福祉協議会に委託を行うことで、生活困窮者に対して複数の事業と連携した対応を行うことにより、再度、困窮状態へ陥らないように、貸付後の返済を含めた家計の改善に向けた早期の支援を行った。 【実績】 <table><tr><td></td><td>被保護者</td><td>他(自立相談)</td><td>合 計</td></tr><tr><td>R2</td><td>1人</td><td>4人</td><td>5 人</td></tr><tr><td>R3</td><td>2人</td><td>11人</td><td>13 人</td></tr><tr><td>R4</td><td>3人</td><td>34人</td><td>37 人</td></tr><tr><td>R5</td><td>2人</td><td>13人</td><td>15 人</td></tr><tr><td>R6</td><td>2人</td><td>12人</td><td>14 人</td></tr></table> ※令和2年度から自立相談支援員による生活困窮者相談支援事業を実施。 令和3年度から京丹後市社会福祉協議会へ委託。			被保護者	他(自立相談)	合 計	R2	1人	4人	5 人	R3	2人	11人	13 人	R4	3人	34人	37 人	R5	2人	13人	15 人	R6	2人	12人	14 人							
				被保護者	他(自立相談)	合 計																											
			R2	1人	4人	5 人																											
			R3	2人	11人	13 人																											
R4	3人	34人	37 人																														
R5	2人	13人	15 人																														
R6	2人	12人	14 人																														
		成 果 ・ 課 題	○京丹後市社会福祉協議会へ委託することによって自立相談支援事業などの連携がしやすく、利用が必要な方へつながることができた。 ○社協の支援員と寄り添い支援総合サポートセンターの自立相談支援員で定期的に訪問するなど継続的に支援することにより、利用者は家計の整理に取り組み、家計管理能力が向上した。 ○精神疾患や知的障害等を抱え、家計管理の能力に限界を感じる利用者もあり、他の制度と連携しながら慎重に実施する必要がある。																														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	26,427千円		26,447千円	20千円	99.9 %				
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課		
	事業	06 重層的支援体制整備移行準備事業					20,548千円				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金（3/4）			3,318千円		
					国補	生活困窮者自立支援補助金（2/3、1/2）			9,375千円		
目的		国が推進する重層的支援体制整備事業へ向けて、新しいコミュニティの推進と連動する地域共生ステーションにより、支え合い助け合う地域福祉を推進する。 また、京丹後市重層的支援体制整備事業庁内検討委員会において、地域共生社会を目指した事業及び事業体制の検討を進める。									
主要な事務・事業の概要	○地域共生推進委託事業委託料			26,400千円		(単位：件)					
	委託先：京丹後市社会福祉協議会 市民に身近な場所としての地域共生ステーション4か所（網野・丹後・弥栄・久美浜）で、福祉の総合的な地域課題の相談から個別の相談に対応できる体制の構築、また、地域の福祉活動が進むよう地域への支援を進めた。 また、8月には峰山、大宮においても人員を配置し、地域共生ステーションを開設した。										
	○重層的支援体制整備事業に係る意見交換会			8千円							
	・職員旅費			3千円							
	・有料道路通行料			5千円							
○クラウドサービス利用料			19千円								
・業務用チャットツール利用サービス											
					成果・課題	○ヒアリングやアンケートなどにより地域のアセスメントを行い、各行政区単位の地域カルテを作成、更新し、地域の課題の把握を行った。 ○地域共生ステーションでは地域の福祉のみならず地域課題の共有を進め、地域福祉活動を推進することができた。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	3,424千円		3,425千円	1千円	99.9 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課
	事業	01 通所費助成事業					3,588千円		
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源					
目的	障害者の生活指導、職業訓練の場である共同作業所等への通所に必要な交通費を助成することで、利用者の経済的負担を軽減し、地域や社会への参加と自立を図る。								
主要な事務・事業の概要	生活指導、職業訓練の場である共同作業所等の通所に必要な交通費を助成した。								
	○共同作業所等通所費助成金 3,424千円								
	助成対象：15施設 実人数 81人（延べ821人）								
	【参考】通所施設								
	法人名		施設名		延べ人数				
	社会福祉法人 よさのうみ福祉会		峰山共同作業所		310人				
			みねやま作業所		51人				
			ゆうゆう作業所		100人				
			be-plus		7人				
			リフレかやの里		12人				
ワークセンター花音			12人						
障害児(者)多機能型生活支援センターろむ			12人						
(右欄へ続く)									
				成果・課題	障害者とその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者の職業訓練と社会参加、自立の促進を支援することができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	26,290千円		26,291千円	1千円	99.9 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	障害者福祉課	
	事業	02 障害者等手当支給事業					28,582千円		
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負 特別障害者手当等給付費負担金（3/4） 19,655千円					
目的	常時介護の必要な在宅障害児者への手当支給により経済的負担を軽減し、障害者福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	在宅重度障害児者への経済的支援策として、国制度である障害児福祉手当及び特別障害者手当を支給した。 ○障害児福祉手当給付費 6,120千円 給付額： 15,220円（令和6年2月～3月） 15,690円（令和6年4月～令和7年1月） 給付人数： 延べ392人 月平均受給者数：33人 ○特別障害者手当給付費 20,170千円 給付額： 27,980円（令和6年2月～3月） 28,840円（令和6年4月～令和7年1月） 給付人数： 延べ701人 月平均受給者数：58人 ※支給対象月：令和6年2月～令和7年1月（年4回支給） ただし、資格喪失児者に対しては随時支給。				成果・課題	手当の支給により、在宅重度障害児者の経済的負担の軽減を図ることができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																						
	項	01 社会福祉費	1,267千円		1,286千円	19千円	98.5 %																								
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課																						
	事業	03 じん臓機能障害者通院交通費助成事業					1,507千円																								
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源																											
目的	人工透析治療を行うため継続的な通院を必要とする透析患者が、公共交通機関や自家用車を利用して通院する際の交通費を助成し、経済的負担の軽減を図る。																														
主要な事務・事業の概要	じん臓機能障害者に対して、通院に必要な交通費の一部を助成した。 ○じん臓機能障害者通院交通費助成金 1,267千円 公共交通機関での通院費又は片道20kmを超える自家用車での通院実費（25円/km）のいずれかのうち、月10千円を上限として1/2を助成した。 （単位：人、千円） <table><tr><td></td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td>実人数</td><td>2</td><td>5</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td>14</td><td>28</td></tr><tr><td>助成額</td><td>95</td><td>191</td><td>131</td><td>180</td><td>35</td><td>635</td><td>1,267</td></tr></table>					峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	実人数	2	5	3	1	3	14	28	助成額	95	191	131	180	35	635	1,267	成果・課題	じん臓機能障害により慢性透析療法を必要とする方が安心して通院治療に専念できるよう、通院交通費に対し助成金を交付することで、経済的な負担の軽減を図ることができた。	
						峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計																			
					実人数	2	5	3	1	3	14	28																			
					助成額	95	191	131	180	35	635	1,267																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部								
	項	01 社会福祉費					99.9 %										
	目	03 障害者福祉費	2,048,611千円		2,048,721千円	110千円	(参考)当初予算額	課	障害者福祉課								
	事業	04 障害福祉サービス事業					1,894,474千円										
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	介護給付・訓練等給付費負担金（1/2）			951,779千円								
目的		障害のある方が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付その他の支援を行い、障害者福祉を推進する。			国負	障害児通所給付費負担金（1/2）			51,948千円								
					府負	介護給付・訓練等給付費負担金（1/4）			483,589千円								
					府負	障害児通所給付費負担金（1/4）			25,882千円								
					府補	障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金（1/2）			1,613千円								
					府補	医療的ケア児者等福祉サービス利用等促進事業補助金（1/2）			72千円								
主要な事務・事業の概要	○扶助費		2,041,322千円		＜高額及び障害者福祉サービス等利用支援費支給関係＞ 延べ利用者数 <table><tr><td>高額障害福祉サービス等</td><td>121人</td><td>補装具</td><td>24人</td></tr><tr><td>知的障害者施設入所者医療</td><td>11人</td><td>自立支援医療（更生医療）</td><td>219人</td></tr></table> ○審査支払事務手数料 介護給付費等支払に係る国保連合会事務手数料 ○障害者福祉サービス等事業所への助成 ・最重度強度行動障害者特別支援補助金 ・医療型短期入所受入体制強化事業補助金 ・医療的ケア受入体制整備補助金 ○障害者福祉サービス等利用支援負担金 京都府自立支援医療利用者負担事業（精神通院医療分）市負担分					高額障害福祉サービス等	121人	補装具	24人	知的障害者施設入所者医療	11人	自立支援医療（更生医療）	219人
	高額障害福祉サービス等	121人	補装具	24人													
	知的障害者施設入所者医療	11人	自立支援医療（更生医療）	219人													
	・各種サービスを利用するための介護給付費等		2,037,612千円														
	介護給付費等関係 延べ利用者数及び給付実績																
	訪問系（居宅介護等）	1,549人	132,143千円														
	日中活動系（生活介護）	3,199人	808,733千円														
	日中活動系（訓練等）	2,561人	380,709千円														
	短期入所	450人	24,908千円														
	施設入所支援	1,152人	211,712千円														
	共同生活援助	1,274人	256,927千円														
	療養介護（医療費除く）	155人	44,988千円														
	計画相談	2,875人	50,192千円														
	児童発達支援	994人	36,026千円														
	放課後等デイサービス	1,213人	56,589千円														
	保育所等訪問支援	14人	313千円														
	訪問型児童発達支援	1人	22千円														
	障害児相談支援	629人	10,502千円														
	特定障害者特別給付費	2,433人	23,242千円														
特例介護給付費等	12人	606千円															
・サービス利用に係る利用者負担を軽減する支援給付費等		3,710千円		成果・課題	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律及び児童福祉法に基づくサービス支給決定・給付を適切に実施することができた。 ○利用者の経済状況に応じた負担軽減を図ることができた。 ○ニーズに応じた給付ができるよう事業所と一層の連携を図っていく必要がある。												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	28,400千円		28,421千円	21千円	99.9 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課
	事業	05 自立支援医療事業					22,346千円		
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金（1/2）			14,927千円
目的	障害児者等が障害を除去又は軽減するための医療を受けた際の必要な医療費を公費で負担し、経済的負担の軽減を図る。				府負	障害者自立支援医療費負担金（1/4）			7,037千円
				府補	障害者自立支援医療特別対策事業費補助金（1/2）			113千円	
主要な事務・事業の概要	身体障害者の障害を除去又は軽減するために行われる更生医療費、身体に障害がある又は障害が残ると思われる病気にかかっている18歳未満の児童が手術等により治療効果が期待できるものについて育成医療費、療養介護サービス利用者に対して療養介護医療費をそれぞれ給付した。 また、更生医療の対象とならない在宅酸素療法等を受けている身体障害者に対して、特別対策事業として医療費の一部を助成した。			○自立支援医療特別対策事業給付費 226千円					
				対象医療：在宅酸素療法、ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患等					
				認定人数：3人					
				○自立支援医療（更生医療）給付費 16,908千円					
				対象医療：人工関節置換術、ペースメーカー移植術、人工透析等					
主要な事務・事業の概要				○自立支援医療（更生医療）審査支払事務手数料 17千円					
				○自立支援医療（育成医療）審査支払事務手数料 1千円					
				○自立支援医療（療養介護医療）審査支払事務手数料 7千円					
				○自立支援医療特別対策事業審査支払事務手数料 2千円					
主要な事務・事業の概要	○自立支援医療（療養介護医療）給付費 11,063千円 対象医療：障害支援区分5以上の重症心身障害者等の医療費 認定人数：13人			成果・課題	医療費の負担を軽減することにより、障害児者が安心して治療に専念し、日常生活能力の回復、改善を図ることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																							
	項	01 社会福祉費	13,545千円		13,545千円	0千円	100.0 %																									
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課																							
	事業	06 補装具事業					14,000千円																									
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負 障害児者補装具給付費負担金（1/2） 7,000千円																											
					府負 障害児者補装具給付費負担金（1/4） 3,386千円																											
目的	身体障害者及び身体障害児の身体機能を補完又は代替する補装具を給付し、日常生活及び社会生活を支援する。																															
主要な事務・事業の概要	○障害児者補装具給付費 13,545千円																															
	身体障害児者の補装具の購入、修理に係る費用を支給																															
	※ 基準額の原則1割が自己負担であるが、身体障害児の補装具に係る自己負担分については、市の独自施策として全額公費で負担																															
	<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">購入</td><td colspan="2">修理</td></tr><tr><td>件数</td><td>給付費</td><td>件数</td><td>給付費</td></tr><tr><td>障害者</td><td>59件</td><td>7,013千円</td><td>29件</td><td>1,606千円</td></tr><tr><td>障害児</td><td>18件</td><td>3,317千円</td><td>11件</td><td>1,609千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>77件</td><td>10,330千円</td><td>40件</td><td>3,215千円</td></tr></table>					購入		修理		件数	給付費	件数	給付費	障害者	59件	7,013千円	29件	1,606千円	障害児	18件	3,317千円	11件	1,609千円	合計	77件	10,330千円	40件	3,215千円				
	購入		修理																													
	件数	給付費	件数	給付費																												
障害者	59件	7,013千円	29件	1,606千円																												
障害児	18件	3,317千円	11件	1,609千円																												
合計	77件	10,330千円	40件	3,215千円																												
【主な給付内容】																																
●障害児：下肢装具、車椅子、姿勢保持装置等																																
●障害者：補聴器、車椅子、義肢、下肢装具等																																
				成果・課題	補装具の購入及び修理に係る費用を支給することによって、障害児者の経済的負担が軽減され、生活上の不便さの緩和や身体的条件を改善することができた。																											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部			
	項	01 社会福祉費	146,894千円		147,229千円	335千円	99.7 %					
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	障害者福祉課				
	事業	07 地域生活支援事業							160,873千円			
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）				27,560千円			
					障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）				13,780千円			
					小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業費補助金（1/2）				18千円			
					きょうと地域連携交付金（福祉タクシー-利用料等助成事業）				2,300千円			
					きょうと地域連携交付金（発達支援相談事業）				1,300千円			
					ふるさと応援基金繰入金				13,000千円			
目的		障害のある方が地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制をつくり、障害者福祉の向上を図る。										
主要な事務・事業の概要	○市町村必須事業				95,491千円				○その他事業		8,187千円	
	事業名等		決算額		延べ件数等		事業名等		決算額		延べ件数等	
	地域活動支援センター事業（3事業所）		46,803千円		利用人数：1,211人		福祉タクシー利用券・ガソリン費用助成事業等経費		4,630千円		交付者数：1,094人	
	日常生活用具給付事業		16,889千円		交付件数：1,518件		発達支援相談事業（1事業所）		2,777千円		相談件数：44件	
	障害者相談支援事業（2事業所）		18,920千円		相談件数：1,205件		福祉機器等購入費助成金		91千円		交付件数：1件	
	移動支援事業（9事業所）		7,284千円		利用時間：2,723時間		障害者自動車運転免許取得助成事業		100千円		交付件数：1件	
	※屋外での移動が困難な方への外出支援											
	障害児通学支援事業（聾学校への通学支援）		4,692千円		利用回数：517回		身体障害者自動車改造費助成事業		300千円		交付件数：3件	
	成年後見制度利用等経費		903千円		利用人数：4人		京都府北部障害者歯科診療所運営費等補助金		252千円		患者数：33人	
	※後見人への報酬助成								小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付費		37千円	
	○市町村任意事業				43,216千円							
	事業名等		決算額		延べ件数等		成果・課題		○各種障害福祉サービス事業を社会福祉法人等に委託し、総合的に支援する体制を充実させることで、サービス量の確保に努めた。 ○相談事業について、関係機関と連携を図りながら必要な支援につなげることができた。 ○各種実施事業について、ニーズに応じたサービス提供の一層の充実が図られるよう事業所と連携しながら進める必要がある。			
	障害者・児童日中一時支援事業（12事業所）		42,338千円		利用回数：8,980回							
	身体障害者訪問入浴事業（1事業所）		844千円		利用回数：54回							
	精神障害者社会復帰事業経費		34千円		開催回数：12回							
	※歯科教室、運動教室等											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	7,584千円		7,586千円	2千円	99.9 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課
	事業	08 障害者就労支援事業					7,786千円		
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（障害者就労支援事業） 3,700千円				
					繰入金 ふるさと応援基金繰入金 3,000千円				
目的		障害者の就労等を支援する事業を実施し、就労及び雇用の促進を図る。 また、障害者の就労意欲の向上と市民との協働を図るための情報発信の場として、障害者施設製品常設店の運営を支援する。							
主要な事務・事業の概要	○障害者雇用促進リーフレット作成 商工会周知 2,300枚、関係機関等配架 200枚			5千円	【クリエイティブショップくりくりの主な取組】				
	○障害者職場実習促進事業補助金 実習を受け入れた企業や実習生のサポートを行うジョブコーチを配置する社会福祉法人及び実習生に対して奨励金を支給した。 ・福祉事業所奨励金 1社会福祉法人（20日間） ・実習生実習奨励金 2人（20日間）			79千円 72千円 7千円	・企画展の開催 開店11周年を迎え、お客様への日頃の感謝と仲間の作った作品を知っていただき、障害者理解を広げる機会として11周年祭を開催した。また、季節ごとのイベントを企画し、集客に繋げることができた。 ・市内外への広報啓発の取組 新聞や市フェイスブック、ケーブルテレビ等で広報することにより、集客率アップに繋げることができた。また、ふるさと納税制度を活用し、市内外へ広く認知してもらえる取組を展開した。 ・新商品開発及び販売の取組 栄養豊富で長寿への効果も期待される本市の特産品の板わかめを活用し、間人水産仲買人組合、京都府漁協間人支所、おかみさんの会との協賛により、3種類の焼き菓子「しゃってもわかめ」を開発し販売した。				
○障害者施設製品販売支援事業補助金			7,500千円						
					成果・課題	○障害者職場実習を通じて、障害者の就労意欲と職場適応能力の向上支援を行い、一般就労につなげる等障害者の自立を図ることができた。 ○常設販売店への運営支援を通じて、障害者施設製品の情報発信と障害者の就労意欲の向上の一助とすることができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	7,246千円		7,273千円	27千円	99.6 %			
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課	
	事業	09 心のバリアフリー促進事業					7,627千円			
基本計画		19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			1,824千円	
目的	障害の特性を理解し、地域や職場、学校等において合理的配慮の提供や手話の普及が広がるように障害者理解の促進と啓発事業を実施する。 また、障害の特性に合ったコミュニケーション支援を行うことにより障害者の社会参加を促進する。				府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			912千円	
				府補	軽・中等度難聴児支援事業費補助金（1/2）			77千円		
主要な事務・事業の概要	○心のバリアフリー促進事業 ・心バリアフリー リーフレット2種類 障害者理解の啓発用リーフレットを出前講座や障害者週間の際に配付した。 ○手話通訳者設置事業 手話通訳専任職員を設置し、聴覚障害者等の相談支援等を実施 相談：270件、関係機関との連絡調整等の支援：77件 啓発事業：61件、聞こえの相談会：6回 ○手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成事業 要約筆記者養成講座 全16回（5月24日～9月23日） 受講者：4人（3人修了） ○手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣事業 聴覚言語障害者が医療機関等に出向く場合や社会活動に参加する場合等に意思疎通支援として手話通訳者等を派遣した。 派遣回数：37回				17千円	○重度障害児者入院時コミュニケーション支援事業 障害児者の入院時に、コミュニケーション支援員を派遣 派遣回数：1回 ○全国手話言語市区長会会費 ○難聴高齢者補聴器購入費助成金 補装具費支給制度に該当しない中等度難聴の高齢者に対する補聴器購入費用の一部を助成（助成件数：17件） ・上限20千円/件（補助率1/2） ○軽・中等度難聴児補聴器購入費等助成金 補装具費支給制度に該当しない18歳未満の児童に対する補聴器購入等の費用の一部を助成（助成件数：3件）				10千円
					5,980千円	10千円				
					475千円	156千円				
					258千円	成果・課題	○意思疎通支援事業を委託することにより、病院等で聴覚障害者の情報保障を確保することができた。 ○平日及び日中に活動できる手話通訳者等が少なく、支援調整が困難な状況であるため、養成講座への参加促進による人材育成を図る必要がある。 ○障害者理解の促進を目的に、障害のある方の作品や作業所等の活動内容を紹介する展示会を商業施設で開催し、障害者理解を深める機会となった。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	29,416千円		29,666千円	250千円	99.1 %		課	障害者福祉課
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額			
	事業	50 障害者福祉一般経費					16,443千円			
基本計画	19 地域で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者総合支援事業費補助金				704千円	
目的	障害者福祉に関する事業を行う上で、必要となる事務経費及び障害支援区分認定審査会の運営等に関する経費			国委	特別児童扶養手当事務委託金				15千円	
				諸収入	デジタル基盤改革支援補助金				3,872千円	
主要な事務・事業の概要	○障害支援区分等認定審査会（12回開催） ・報酬、費用弁償（5人）		871千円		○丹後視力障害者福祉センター後援会費					200千円
	○身体・知的障害者等相談員経費 ・謝金、ボランティア保険料（15人）		455千円		○国保連伝送用運用サポート負担金					12千円
	○旅費（研修会等）		62千円		○国保連伝送用保守負担金					78千円
	○需用費 ・事務用品、バス燃料費		211千円		○電算機器更新負担金					179千円
	○役務費 ・障害支援区分医師意見書作成料（191件）等		976千円		○障害者グループホーム整備費補助金（2施設）					10,000千円
	・通信運搬費（審査会資料、特別児童扶養手当書類等）		899千円		・（福）丹後大宮福祉会（きぼう1棟）					5,000千円
	・通信運搬費（審査会資料、特別児童扶養手当書類等）		77千円		・（福）久美の浜福祉会（くみはまホーム1棟）					5,000千円
	○委託料		7,536千円		○過年度国庫支出金返還金					7,943千円
	・障害福祉システム更新委託料等		5,280千円		・障害者自立支援医療費国庫負担金					882千円
	・システム保守業務委託料（G-TrustⅡ・国保連）		1,093千円		・障害者自立支援給付費国庫負担金					6,931千円
	・障害支援区分認定調査委託料（164件）		1,136千円		・障害児入所給付費等国庫負担金					123千円
	・バス運転委託料（障害者ふれあい広場への参加）		27千円		・地域生活支援事業補助金					7千円
	○使用料及び賃借料		893千円		成果・課題	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律で定められている審査会について、利用者へのサービス提供が滞ることがないように適切に運営することができた。 ○障害福祉システムの保守により、障害福祉サービスに関する事務を円滑に行うことができた。 ○グループホーム整備費補助金を交付することにより、グループホームの整備促進と障害者が安全・安心に暮らすことのできる環境整備を図ることができた。				
	・ソフトウェア使用料		1千円							
	・障害者授産施設等運営用地賃借料		813千円							
	・行事参加等有料道路通行料、駐車場使用料		79千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	26,035千円		26,041千円	6千円	99.9 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	01 敬老祝い事業					27,266千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債）				12,000千円
目的		高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に対して感謝するため、行政区等の団体が行う敬老祝い事業に対して補助金を交付するとともに、最高齢・長寿・米寿・喜寿の各対象者に対し、祝い品を贈呈する。							
主要な事務・事業の概要	喜寿（77歳）、米寿（88歳）、長寿（新100歳）及び市最高齢者の方へ祝い品を贈呈するとともに、地区等主催の敬老祝い事業に対して補助金を交付した。								
	○敬老祝い品贈呈		1,996千円						
	・最高齢（3人）祝い品及び祝い状		77千円						
	・長寿（新100歳）祝い品及び祝い状		229千円						
	・米寿（88歳）祝い品		524千円						
	・喜寿（77歳）祝い品		1,146千円						
	・最高齢及び長寿祝い表彰状筆耕料		20千円						
	○敬老祝い事業補助金		24,039千円						
	補助対象団体：行政区（又は2以上の地区連合体）、老人福祉施設								
	補助対象年齢：75歳以上（補助金2千円／人）								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	123,800千円		124,130千円	330千円	99.7 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	02 老人保護措置事業					139,992千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金 26,847千円				
目的	老人福祉法に基づき、原則65歳以上の方で、家族や住居の状況、経済的理由等のため、在宅生活継続が困難な方に対し、養護老人ホーム等への入所措置を行うことにより、生きがいを持てる健全で、安心して過ごせる生活を保障する。								
主要な事務・事業の概要	老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホーム等に入所措置した。								
	○一般事務費21千円 - 入所判定委員会委員謝金及び費用弁償9千円 - 職員旅費、有料道路通行料（施設入退所立会い等）12千円 ○養護老人ホーム等入所措置費123,779千円 - 入所施設：3施設 入所者数：55人（R7.3.31現在） ・事務費80,246千円 ・一般生活費36,740千円 ・冬期加算545千円 ・期末加算261千円 ・被服費加算59千円 ・介護保険料加算60千円 ・介護サービス利用者負担加算4,928千円 ・入所者処遇特別加算940千円				成果・課題	○在宅生活の継続が困難な高齢者について、在宅生活における不安の解消・生活改善を図るため、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター等と連携して、入所措置につなげることができた。 ○入所待機者の生活状況等を正確に把握し、適切な入所措置を引き続き行う必要がある。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部											
	項	01 社会福祉費	5,424千円		5,425千円	1千円	99.9 %													
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課											
	事業	03 老人クラブ 活性化支援事業					6,043千円													
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 老人クラブ 助成事業費補助金（2/3）2,751千円																
目的	老人クラブ活動に対して助成を行うことにより、単位老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、高齢者の社会参加を推進する。																			
主要な事務・事業の概要	老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う健康づくり事業、啓発・広報広聴事業等に対し、補助金を交付した。				■単位老人クラブ数などの推移															
	○老人クラブ活性化支援補助金5,424千円 ・老人クラブ連合会活動促進事業費補助金281千円 市老人クラブ連合会（1,211人）の活動に対する補助 ・老人クラブ活動費補助金3,006千円 単位老人クラブ（65クラブ）の活動に対する補助 ・友愛訪問活動事業補助金44千円 介護施設への訪問慰問 ・健康づくり事業補助金420千円 各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助 ・啓発・広報広聴促進事業補助金378千円 機関紙を通じて活動紹介、啓発、意見交換を実施 ・老人クラブ連合会事務局員賃金補助金（1人分）1,200千円 ・老人クラブ連合会運営補助金（研修会等参加補助）95千円				<table><tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>単位老人クラブ数</td><td>72クラブ</td><td>72クラブ</td><td>65クラブ</td></tr><tr><td>会員数</td><td>1,469人</td><td>1,419人</td><td>1,211人</td></tr></table>						令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位老人クラブ数	72クラブ	72クラブ	65クラブ	会員数	1,469人	1,419人
	令和4年度	令和5年度	令和6年度																	
単位老人クラブ数	72クラブ	72クラブ	65クラブ																	
会員数	1,469人	1,419人	1,211人																	
					成果・課題	○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕活動等を支援することで、健康保持及び社会貢献を目的とした各種活動の円滑な実施に寄与することができた。 ○年々会員数が減少しているため、老人クラブが行う会員拡大、加入促進の取組を引き続き支援していく必要がある。														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部													
	項	01 社会福祉費	10,453千円	10,453千円	0千円	100.0 %															
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額	課	長寿福祉課													
	事業	04 福祉有償運送運営助成事業				11,550千円															
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		府補	きょうと地域連携交付金（福祉有償運送運営助成事業）					5,200千円												
目的	福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう外出を支援し、地域福祉の向上を図る。			主な財源																	
主要な事務・事業の概要	公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対して、移送サービスを提供する福祉有償運送の実施を支援した。																				
	○福祉有償運送事業補助金		10,453千円																		
	・実施主体：京丹後市社会福祉協議会																				
	<table><tr><td>①利用料収入</td><td>3,277千円</td></tr><tr><td>②支出合計</td><td>13,730千円</td></tr><tr><td>（内訳）人件費</td><td>9,073千円</td></tr><tr><td>事務費</td><td>45千円</td></tr><tr><td>事業費</td><td>4,612千円</td></tr><tr><td>福祉有償運送事業費補助金（②－①）</td><td>10,453千円</td></tr></table>		①利用料収入	3,277千円	②支出合計	13,730千円	（内訳）人件費	9,073千円	事務費	45千円	事業費	4,612千円	福祉有償運送事業費補助金（②－①）	10,453千円							
	①利用料収入	3,277千円																			
②支出合計	13,730千円																				
（内訳）人件費	9,073千円																				
事務費	45千円																				
事業費	4,612千円																				
福祉有償運送事業費補助金（②－①）	10,453千円																				
・事業実績：																					
<table><tr><td></td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>実利用者数</td><td>84人</td><td>81人</td><td>63人</td></tr><tr><td>延べ利用回数</td><td>5,337回</td><td>4,576回</td><td>3,781回</td></tr></table>			R4	R5	R6	実利用者数	84人	81人	63人	延べ利用回数	5,337回	4,576回	3,781回								
	R4	R5	R6																		
実利用者数	84人	81人	63人																		
延べ利用回数	5,337回	4,576回	3,781回																		
成果・課題																					
	補助金の交付により、事業者が行う高齢者や障害者の日常生活の移動支援の取組の実施に寄与することができた。																				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	9,929千円		10,130千円	201千円	98.0 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	06 介護サービス利用負担軽減事業					11,400千円		
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 介護保険事業費補助金（3/4） 7,447千円					
目的	社会福祉法人等により被保険者に提供される介護保険サービス等の利用者負担について、低所得等の一定基準を満たしている生活困窮者の負担を軽減し、高齢者福祉の増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 9,929千円								
	低所得で生計の維持が困難である者の介護保険サービスの利用について、社会福祉法人等が利用者負担額の軽減を行った場合に、その軽減した額の一部を助成 助成金交付法人数：16法人 軽減対象認定者数：延べ327人								
					成果・課題	低所得で生計が困難な要介護者等が、介護サービス費等の負担軽減を受けられるように社会福祉法人等を支援することで、高齢者福祉の増進を図ることができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	7,662千円		7,663千円	1千円	99.9 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	07 高齢者福祉施設整備助成事業					7,663千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源					
目的		法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図るため、社会福祉法人の施設整備に係る借入金等の返済の一部を助成する。							
主要な事務・事業の概要	介護が必要になった高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、社会福祉法人の拠点施設の整備に係る債務の償還金額の一部について補助を行った。								
	○老人福祉施設建設資金借入金償還補助金				7,662千円				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部												
	項	01 社会福祉費	18,685千円		18,799千円	114千円	99.3 %														
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課												
	事業	08 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業					8,486千円														
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	使用料	網野高齢者すこやかセンター使用料			3,215千円												
					市債	高齢者福祉施設整備事業債（合併特例債）			9,600千円												
目的		在宅の高齢者に対して生きがいや健康づくりの場として、サークル活動などの会場及び入浴施設の提供を図る。																			
主要な事務・事業の概要	在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。																				
	○施設管理業務委託料		3,194千円		■年間施設利用者数（延べ人数）																
	委託先：木津連合区		<table><tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>入浴利用者数</td><td>15,331 人</td><td>16,136 人</td><td>16,348 人</td></tr><tr><td>貸館利用者数</td><td>2,264 人</td><td>2,138 人</td><td>2,418 人</td></tr></table>								令和4年度	令和5年度	令和6年度	入浴利用者数	15,331 人	16,136 人	16,348 人	貸館利用者数	2,264 人	2,138 人	2,418 人
		令和4年度	令和5年度	令和6年度																	
	入浴利用者数	15,331 人	16,136 人	16,348 人																	
	貸館利用者数	2,264 人	2,138 人	2,418 人																	
	○施設維持管理経費		5,372千円		＜参考＞入浴料（税込）（1回）																
	・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費及び修繕料）		5,264千円		市内に居住する60歳以上の者 190円																
	・電話代		66千円		市内に居住する60歳未満の者 290円																
	・消防設備保守点検委託料		13千円		市外に居住する者 590円																
・備品購入費（掃除機1台）		29千円																			
○ボイラー及び貯湯槽更新工事		10,119千円																			
・設計監理委託料		1,603千円		成果・課題	○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者の生きがいや健康づくりに貢献することができた。 ○老朽化していたボイラー及び貯湯槽の更新により、施設の適切な運営に資することができた。 ○利用者の増加等による収入の増加を図るなど、より一層の効果的・効率的な運営に努めていく必要がある。																
・工事請負費		8,516千円																			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費					99.3 %		
	目	04 高齢者福祉費	1,072,807千円		1,079,391千円	6,584千円	(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	09 介護保険事業特別会計繰出金					1,047,835千円		
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国負	介護保険低所得者保険料軽減負担金（1/2）			35,309千円
					府負	介護保険低所得者保険料軽減負担金（1/4）			17,654千円
目的	介護保険法で定められた費用及び事務費相当分を負担することで、介護保険事業特別会計の円滑な運営を図る。								
主要な事務・事業の概要	介護保険事業を円滑に推進するため、介護給付費の公費相当分、事務費相当分、地域支援事業費分及び低所得者保険料軽減相当分について、一般会計から繰り出しを行った。				【地域支援事業分】 117,023千円				
	○介護保険事業特別会計繰出金 1,072,807千円				・介護予防事業分 20,287千円 介護予防・生活支援サービス事業分・一般介護予防事業分 事業費×12.5%				
	【介護保険事業分】 955,784千円				・介護予防事業 基準額超過分・対象外経費分 73,196千円 （基準超過事業費＋対象外経費）×100%				
	・介護給付費相当分 794,853千円 総給付費×12.5%				・包括的支援事業分 17,941千円 包括的支援、任意事業、社会保障充実分 事業費×19.25%				
	・事務費相当分 8,127千円 （一般管理費＋賦課徴収費＋趣旨普及費）×100%				・包括的支援事業 対象外経費分 5,599千円 対象外経費×100%				
	・認定事務費相当分 82,938千円 （介護認定審査会費＋認定調査等費）×100%								
	・低所得者保険料軽減相当分 69,866千円								
				成果・課題					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																																																																																										
	項	01 社会福祉費	68,000千円		68,000千円	0千円	100.0 %																																																																																																																												
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																																																																																																																										
	事業	10 介護サービス事業特別会計繰出金					68,000千円																																																																																																																												
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																																																																																																																															
目的		介護サービス事業特別会計へ繰出金を支出することにより、京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ及び京丹後市網野デイサービスセンターの安定した運営を図る。																																																																																																																																	
主要な事務・事業の概要	○介護サービス事業特別会計繰出金		68,000千円		・京丹後市網野デイサービスセンター																																																																																																																														
	【参考】＜介護サービス事業特別会計収支＞																																																																																																																																		
	歳 入		114,994千円		<table><tr><td rowspan="4">歳入</td><td>サービス収入</td><td>58,055千円</td></tr><tr><td>府支出金</td><td>121千円</td></tr><tr><td>諸収入</td><td>105千円</td></tr><tr><td>計</td><td>58,281千円</td></tr><tr><td rowspan="4">歳出</td><td>施設管理費</td><td>13,641千円</td></tr><tr><td>サービス事業費</td><td>56,857千円</td></tr><tr><td>公債費</td><td>25千円</td></tr><tr><td>計</td><td>70,523千円</td></tr><tr><td colspan="2">収支差</td><td colspan="2">△ 72,467千円</td><td colspan="5">収 支 ②</td><td colspan="2">△ 12,242千円</td></tr><tr><td colspan="2">・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ</td><td colspan="2"></td><td colspan="5"></td></tr><tr><td rowspan="4">歳入</td><td>項目</td><td colspan="2">金額</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>使用料及び手数料</td><td colspan="2">26千円</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>諸収入</td><td colspan="2">8,587千円</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>市債</td><td colspan="2">48,100千円</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td rowspan="4">歳出</td><td>計</td><td colspan="2">56,713千円</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>施設管理費</td><td colspan="2">48,631千円</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>公債費</td><td colspan="2">68,307千円</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td>計</td><td colspan="2">116,938千円</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="2">収 支 ①</td><td colspan="2">△ 60,225千円</td><td colspan="5"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="5">成果・課題</td></tr></table>					歳入	サービス収入	58,055千円	府支出金	121千円	諸収入	105千円	計	58,281千円	歳出	施設管理費	13,641千円	サービス事業費	56,857千円	公債費	25千円	計	70,523千円	収支差		△ 72,467千円		収 支 ②					△ 12,242千円		・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ									歳入	項目	金額							使用料及び手数料	26千円							諸収入	8,587千円							市債	48,100千円							歳出	計	56,713千円							施設管理費	48,631千円							公債費	68,307千円							計	116,938千円							収 支 ①		△ 60,225千円											成果・課題				
	歳入	サービス収入	58,055千円																																																																																																																																
		府支出金	121千円																																																																																																																																
		諸収入	105千円																																																																																																																																
		計	58,281千円																																																																																																																																
	歳出	施設管理費	13,641千円																																																																																																																																
		サービス事業費	56,857千円																																																																																																																																
		公債費	25千円																																																																																																																																
		計	70,523千円																																																																																																																																
	収支差		△ 72,467千円		収 支 ②					△ 12,242千円																																																																																																																									
	・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ																																																																																																																																		
	歳入	項目	金額																																																																																																																																
		使用料及び手数料	26千円																																																																																																																																
		諸収入	8,587千円																																																																																																																																
市債		48,100千円																																																																																																																																	
歳出	計	56,713千円																																																																																																																																	
	施設管理費	48,631千円																																																																																																																																	
	公債費	68,307千円																																																																																																																																	
	計	116,938千円																																																																																																																																	
収 支 ①		△ 60,225千円																																																																																																																																	
				成果・課題																																																																																																																															

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																		
	項	01 社会福祉費	3,894千円		3,894千円	0千円	100.0 %																				
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																		
	事業	11 福祉施設等指定管理施設運営事業					4,244千円																				
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債7/7） 1,000千円																							
目的	民間の強みや特性を活かした指定管理者の管理運営により、利用者へ質の高い多様なサービスを提供するとともに、地域に根差した高齢者の拠点施設機能を果たすことを目的とする。																										
主要な事務・事業の概要	高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の管理運営を円滑に行うための経費を支出した。																										
	○指定管理委託料（指定管理者、指定管理期間） 3,894千円																										
	・ 網野社会参加交流ハウス 1,779千円 （社会福祉法人あみの福祉会、令和7年度まで）																										
	・ 弥栄生きがい交流センター 2,115千円 （社会福祉法人あしぎぬ福祉会、令和7年度まで）																										
	<table><tr><th rowspan="2">施設名称</th><th colspan="3">延べ利用者数</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>網野社会参加交流ハウス</td><td>3,690人</td><td>5,548人</td><td>5,032人</td></tr><tr><td>弥栄生きがい交流センター</td><td>790人</td><td>552人</td><td>657人</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,480人</td><td>6,100人</td><td>5,689人</td></tr></table>		施設名称	延べ利用者数			令和4年度	令和5年度	令和6年度	網野社会参加交流ハウス	3,690人	5,548人	5,032人	弥栄生きがい交流センター	790人	552人	657人	合計	4,480人	6,100人	5,689人	成果・課題				高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進を図ることができた。	
	施設名称	延べ利用者数																									
令和4年度		令和5年度	令和6年度																								
網野社会参加交流ハウス	3,690人	5,548人	5,032人																								
弥栄生きがい交流センター	790人	552人	657人																								
合計	4,480人	6,100人	5,689人																								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	14,189千円		14,189千円	0千円	100.0 %			
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課	
	事業	15 高齢者福祉施設整備事業					13,114千円			
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 地域密着型サービス等整備助成事業補助金（10/10） 14,189千円						
目的	宿泊室増室に係る経費を支援することで、介護基盤の整備・充実を図る。									
主要な事務・事業の概要	○地域密着型サービス施設整備事業費補助金		14,189千円							
	実施法人：社会福祉法人不動園									
	対象施設：あけぼの荘									
	補助率：10/10（国2/3、府1/3）									
	事業概要：宿泊室の増室（整備前：3室 → 整備後：4室）									
				事業区分		事業内容	補助単価 (A)	単位 (B)	補助金額 (A×B)	成果・課題
		① 施設整備等助成事業		宿泊室の増室		13,200千円	1室	13,200千円		
		② 施設開設準備経費等支援事業		宿泊室に必要な備品(ベッド、テレビ等)の整備		989千円	1室	989千円		
		合計				14,189千円				
		宿泊室増室に係る経費を支援することで、市内の介護施設の充実を図ることができた。								

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																			
	項	01 社会福祉費	19,050千円		19,050千円	0千円	100.0 %																					
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																			
	事業	16 シルバ-人材セナ-運営助成事業					19,050千円																					
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源																								
目的	シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の就業機会の確保をはじめ、就業及びボランティア活動等による高齢者の社会参加を図り、地域の活性化と福祉の向上を目指す。																											
主要な事務・事業の概要	シルバー人材センターへ運営費を支援することにより、定年退職者等の地域に密着した就業機会の確保、また高齢者の生きがいの充実や社会参加の機会確保を図る。		【事業概要】労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等																									
	○京丹後市シルバー人材センター運営費補助金	19,000千円																										
	○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費	50千円																										
			<table><tr><td></td><td>令和4年度末</td><td>令和5年度末</td><td>令和6年度末</td></tr><tr><td>正 会 員 数</td><td>682人</td><td>694人</td><td>718人</td></tr><tr><td>就 業 延 べ 人 員</td><td>62,464人</td><td>60,378人</td><td>61,205人</td></tr><tr><td>受 注 件 数</td><td>4,582件</td><td>4,322件</td><td>3,933件</td></tr><tr><td>契 約 金 額</td><td>309,477千円</td><td>322,744千円</td><td>337,281千円</td></tr></table>								令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	正 会 員 数	682人	694人	718人	就 業 延 べ 人 員	62,464人	60,378人	61,205人	受 注 件 数	4,582件	4,322件	3,933件	契 約 金 額	309,477千円	322,744千円
	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末																									
正 会 員 数	682人	694人	718人																									
就 業 延 べ 人 員	62,464人	60,378人	61,205人																									
受 注 件 数	4,582件	4,322件	3,933件																									
契 約 金 額	309,477千円	322,744千円	337,281千円																									
			成果・課題	○補助金の交付により、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の機会確保に繋ぐことができた。 ○高齢者の健康維持や福祉の増進だけでなく、生活支援の担い手として活躍していただけるよう、市とシルバー人材センターで引き続き情報共有や連携を進めていくとともに、会員確保に向けた取組を進めていく必要がある。																								

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部									
	項	01 社会福祉費	296千円		296千円	0千円	100.0 %											
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課									
	事業	17 百才活力社会推進事業					367千円											
基本計画	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	諸収入 京丹後市百寿人生のレシピ 販売代金 283千円														
目的	百歳になってもそれぞれの才能を活かして、学習や趣味、仕事、ボランティアなど、やりたい分野で生涯現役で活躍できる「百才活力社会」の推進に向けて、取組を進める。																	
主要な事務・事業の概要	＜働くシニア応援プロジェクトの実施＞ 【所管：長寿福祉課】 294千円 ○ シニア向け求人情報掲載チラシの作成 ・ 印刷製本費（求人情報掲載チラシの作成） 294千円 <table><tr><td>発行時期</td><td>7月</td><td>12月</td></tr><tr><td>発行部数</td><td>19,700部</td><td>19,700部</td></tr><tr><td>掲載企業数</td><td>10社</td><td>13社</td></tr></table> ※ 全戸配付、関係機関の窓口に配架		発行時期	7月	12月	発行部数	19,700部	19,700部	掲載企業数	10社	13社	＜京丹後百寿人生のレシピ第4版 販売＞ 【所管：健康推進課】 2千円 令和4年6月に発行した「～今に生きる～京丹後百寿人生のレシピ第4版」を販売機関へ送付 ・ 通信運搬費（全国官報販売協働組合への郵送料） 2千円						
			発行時期	7月	12月													
			発行部数	19,700部	19,700部													
			掲載企業数	10社	13社													
成果・課題	○シニア向け求人情報掲載チラシの発行により、シニアの就業機会の確保に寄与することができた。 ○「百寿者人生のレシピ」により、「長寿のまち」を市内外に広く発信することができた。																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部						
	項	01 社会福祉費	3,363千円		3,456千円	93千円	97.3 %								
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課						
	事業	18 高齢者外出支援事業					4,206千円								
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1,000千円										
目的		国の臨時交付金を活用し、免許返納等により自動車や原付バイクの運転ができなくなったり、身体機能低下により外出機会が減少する高齢者（満75歳以上）の外出支援の一助とするため、タクシー代割引チケットの販売を行う。			諸収入 高齢者外出支援チケット販売代金 1,964千円										
主要な事務・事業の概要	【チケットの種類】 外出支援チケット（1冊4,000円綴りを2,000円で販売） 病院・買い物・公共機関等へ行くための利用したタクシー運賃の支払いに利用できるチケット 【対象者】 満75歳以上の方 【交付要件等】 <table><tr><td>令和6年度の交付要件</td><td>購入冊数</td></tr><tr><td>本人・世帯とも住民税非課税</td><td rowspan="2">3冊</td></tr><tr><td>住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり</td></tr><tr><td>住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし</td><td>2冊</td></tr></table> 【利用期限】 購入日から1年間 【販売期間】 令和6年4月1日～令和7年3月31日 【販売場所】 長寿福祉課または各市民局（峰山市民局は除く） 【実証期間】 令和3年度～令和7年度				令和6年度の交付要件	購入冊数	本人・世帯とも住民税非課税	3冊	住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり	住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし	2冊	○消耗品費 52千円 ・販売の周知を行うためのチラシ用紙 ○印刷製本費 135千円 ・外出支援チケット作成 50千円 ・事業内容及び販売の周知を行うためのチラシ作成 85千円 ○高齢者外出支援助成金 3,176千円 ■チケットの販売・使用状況 販売冊数：990冊（購入者数：450人） 使用枚数：7,941枚 （内訳） 令和5年度購入分：1,181枚 令和6年度購入分：6,760枚			
					令和6年度の交付要件	購入冊数									
本人・世帯とも住民税非課税	3冊														
住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり															
住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし	2冊														
成果・課題	購入者の約8割が運転免許証を保有していない方であり、外出や社会参加の促進に寄与することができた。														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	8,328千円		8,557千円	229千円	97.3 %				
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課		
	事業	50 高齢者福祉一般経費					4,875千円				
基本計画		20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源							
目的	高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に進めるための経費										
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助1人）		3,274千円		○委託料					2,542千円	
	○職員旅費		40千円		・ 自家用電気工作物保安管理業務委託料（旧松風苑分）					159千円	
	○需用費		912千円		・ 旧松風苑施設管理委託料（草刈り、庭木剪定等）					139千円	
	・ 消耗品費（事務用品、見守りQRコードシール、書籍）		586千円		・ 認知症AI相談システム開発・導入委託料					2,244千円	
	・ 印刷製本費（認知症講演会チラシ）		56千円		○使用料及び賃借料					516千円	
	・ 光熱水費（旧松風苑分）		261千円		・ グループホームかえて（弥栄町溝谷）の土地借上料					436千円	
	・ 修繕料（旧松風苑分）		9千円		・ 浜詰ふれあいセンター（網野町浜詰）の土地借上料					80千円	
	○役務費		481千円		○償還金、利子及び割引料					563千円	
	・ 総合賠償補償保険料（認知症あんしん補償事業）		316千円		・ 過年度国庫支出金返還金（低所得者保険料軽減負担金）					375千円	
	加入者数：126人（令和6年度末時点：107人）				・ 過年度府支出金返還金（低所得者保険料軽減負担金）					188千円	
成果・課題	・ 消防設備点検手数料（旧松風苑分）		73千円		○高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に進めることができた。 ○認知症AI相談システムの導入及び認知症あんしん補償事業の実施により、認知症高齢者等とその家族が地域で安心して生活することができる環境整備に寄与することができた。 ○老人福祉センターとしての機能を廃止した旧松風苑について、今後の利活用について検討していく必要がある。						
	・ 廃消火器・廃油処理手数料（旧松風苑分）		39千円								
	・ 新聞折込手数料（認知症講演会チラシ）		53千円								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	03 生活保護費	62,414千円		62,709千円	295千円	99.5 %				
	目	01 生活保護総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課		
	事業	02 生活保護運営管理事業					18,765千円				
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負				生活困窮者自立支援負担金（3/4）	5,496千円	
目的		生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適切に運用する。			国補				生活困窮者自立支援補助金（2/3、1/2）	3,159千円	
					諸収入				一時支援資金貸付金元金収入	175千円	
					諸収入				市有自動車損害共済金	15千円	
				諸収入				デジタル基盤改革支援補助金（10/10）	5,188千円		
主要な事務・事業の概要	○生活保護運営に関する総務費		55,493千円		○生活保護システム更新・改修経費						6,921千円
	・生活保護嘱託医報酬（1人）		981千円		・システム更新委託料（標準化対応）						5,188千円
	・就労支援員任用経費（1人・週4日）		3,381千円		・システム改修委託料（制度改正対応）						1,733千円
	・健康管理支援員任用経費（1人・週3日）		2,840千円								
	・面接相談員任用経費（1人・週4日）		3,339千円								
	・職員旅費（会議・研修）、有料道路通行料等		78千円								
	・参考図書や事務用品等の購入費、封筒等の印刷費		341千円								
	・診療報酬と介護保険報酬の審査支払、資産調査手数料		379千円								
	・生活保護システムサービス利用料		2,983千円								
	・生活保護訪問支援、健康管理システム利用サービス料		1,225千円								
	・生活保護レセプト管理システムサービス料		2,541千円								
	・要介護認定調査、診療報酬明細書点検の委託料		85千円								
	・生活保護申請者への一時支援資金貸付金（11件）		175千円								
	・医療扶助オンライン資格確認等運営負担金		45千円								
・過年度国庫支出金返還金（生活保護費負担金等）		36,988千円									
・その他経費（修繕料、通信運搬費等）		112千円									
				成果・課題	○生活保護法に基づく事務を適正に行い、円滑な生活保護支給事業の運営ができた。 ○生活保護システムの標準準拠システム整備に必要な更新を行った。 ○今後も、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立助長を進めるとともに、レセプト管理システムの活用等により、支給額の大きい医療扶助費の適正化に努める必要がある。						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	03 生活保護費	636,427千円		638,312千円	1,885千円	99.7 %		
	目	02 生活保護扶助費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	01 生活保護費支給事業					648,233千円		
基本計画		18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源	国負 生活保護費負担金（3/4） 472,998千円				
目的	生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するための経済的援助を行うとともに、自立のための支援を行う。				府負 生活保護費負担金（府費負担となる扶助費支給額の1/4） 2千円				
					諸収入 生活保護費返還金 4,387千円				
					諸収入 生活保護費徴収金 184千円				
				諸収入 生活保護費認定徴収金 1,192千円					
主要な事務・事業の概要	生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給した。					○扶助費 636,427千円			
	※各年度とも3月末日の数値（単位：世帯、人）					【生活保護費の支給状況】（単位：千円）			
			R2	R3	R4	R5	R6		
	峰山	世帯数	113	114	108	108	107		
		人数	157	150	146	136	137		
	大宮	世帯数	57	59	64	70	72		
		人数	75	76	76	81	83		
	網野	世帯数	112	106	97	97	99		
		人数	153	145	144	146	151		
	丹後	世帯数	24	23	23	18	21		
		人数	36	34	33	26	28		
	弥栄	世帯数	25	25	24	22	23		
		人数	38	33	32	27	28		
	久美浜	世帯数	33	33	40	41	41		
		人数	42	40	57	59	61		
	合計	世帯数	364	360	356	356	363		
		人数	501	478	488	475	488		
成果・課題	○経済的給付にとどまらず、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立に向け、各関係機関と連携し支援を行った。 ○生活保護費の支給を適正に行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することができた。 ○生活保護受給者に対し、引き続き適正な保護を実施するとともに、自立を促進する必要がある。								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部												
	項	01 保健衛生費	1,010千円		1,014千円	4千円	99.6 %														
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額	課	健康推進課												
	事業	02 保健センター管理運営事業					905千円														
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	諸収入 リコール補償金 80千円																	
目的		市民の疾病予防、健康の保持増進を図るため、総合検診後の結果報告会、健康指導及び健康教育等の保健活動の拠点となる保健センター（大宮・網野）の適切な管理を行う。																			
主要な事務・事業の概要	○大宮保健センター、網野保健センターの維持管理経費 ・消耗品費（衛生用品ほか） ・燃料費（ガス代） ・光熱水費（電気、水道） ・修繕費（施設維持のための修繕費） ・役務費（家電リサイクル料、廃家電処理手数料） ・施設清掃委託料（網野保健センター）		1,010千円 2千円 62千円 719千円 6千円 55千円 166千円		【利用実績】																
					<table><tr><td>施設名称</td><td>利用件数</td><td>利用人数</td></tr><tr><td>大宮保健センター</td><td>8件</td><td>116人</td></tr><tr><td>網野保健センター</td><td>22件</td><td>464人</td></tr><tr><td>丹後保健センター</td><td>5件</td><td>67人</td></tr><tr><td>弥栄保健センター</td><td>5件</td><td>33人</td></tr><tr><td>久美浜保健センター</td><td>12件</td><td>161人</td></tr></table>			施設名称	利用件数	利用人数	大宮保健センター	8件	116人	網野保健センター	22件	464人	丹後保健センター	5件	67人	弥栄保健センター	5件
	施設名称	利用件数	利用人数																		
大宮保健センター	8件	116人																			
網野保健センター	22件	464人																			
丹後保健センター	5件	67人																			
弥栄保健センター	5件	33人																			
久美浜保健センター	12件	161人																			
※網野・大宮以外の保健センターについては、維持管理費を各庁舎の管理事業から支出																					
主な財源のリコール補償金は、大宮保健センターで使用中の除湿器4台にリコールが発生したことに伴う補償金																					
成果・課題	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施することができ、健康増進の拠点として役割を果たすことができた。																				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	585千円		600千円	15千円	97.5 %		課	健康推進課
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額			
	事業	03 自殺対策事業					482千円			
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	府補 自殺対策事業補助金（1/2、2/3）					284千円	
目的	「第3次京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺ゼロの実現を目指し、悩んでいる人に気づき、聴き、つなぎ、見守る支援者を養成するとともに、普及啓発、相談支援等「生きることの包括的支援」として自殺対策の取組を推進する。									
主要な事務・事業の概要	○こころの健康づくり講演会（9月28日実施）		77千円		○自殺ゼロ実現推進協議会					19千円
	参加者86人（精神科医師講演及びストレスチェック他）				第2次自殺のないまちづくり行動計画の取組結果及び第3次行動計画の概要について説明・情報共有及び意見交換					
	・ 講演講師謝金		30千円		京丹後市自殺ゼロ実現推進連絡会議（6月11日実施）					
	・ 消耗品費（チラシ・普及啓発用品等）		47千円		京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会（7月2日実施）					
	○こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会		193千円		・ 費用弁償（参与交通費）					12千円
	年8回、延べ参加者150人				・ 消耗品費（事務用品代）					3千円
	・ 研修会講師謝金（5回分）		145千円		・ 通信運搬費（委員案内及び資料送付郵送料）					4千円
	・ 消耗品費		48千円		○相談窓口普及啓発（全戸配付）					144千円
	（チラシ・相談窓口一覧及びゲートキーパー手帳用紙代他）				・ 印刷製本費					
	○街頭啓発		82千円		○街頭啓発、総合窓口一覧の全戸配付やこころの健康づくり講演会を実施し、心の健康を保つコツや相談先に関する普及・啓発を図ることができた。					
商業施設での街頭啓発（9・3月に計5か所で実施）				○「こころ・いのち・つなぐ手研修会」では、参加者の中から地域で見守り支援を行う協力者を募り、新たな支援者を確保することができた。						
啓発グッズの配架（市民局・図書館・商工会他）		配布数1,788部		○自殺者数については目標であるゼロには至ってはいないが、今後も引き続き関係機関との連携を強化しながら総合的な自殺対策を推進し、自殺者ゼロを目指す。						
・ 消耗品費（相談窓口一覧用紙、ポケットティッシュ他）		62千円								
・ 印刷製本費（ポケットティッシュ用リーフレット）		20千円								
○若年層対策事業		70千円								
SOSの出し方や相談窓口を掲載したクリアファイル及びリーフレットを作成・配付（小6、中3、高3 計1,400部作成）										
・ 消耗品費（クリアファイル他）										

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	14,560千円		14,808千円	248千円	98.3 %		
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	50 保健衛生総務一般経費					10,931千円		
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	国補	予防接種健康被害調査費補助金				21千円
				諸収入	後期高齢者医療保健事業委託金				429千円
目的	会計年度任用職員任用経費のほか、研修旅費、各種負担金などにより、保健事業を円滑に実施する環境を整える。								
主要な事務・事業の概要	【所管：健康推進課】		11,950千円		【所管：子育て支援課】		2,610千円		
	○予防接種健康被害調査委員会委員報酬・費用弁償		29千円		○職員旅費（新人保健師研修会、視察等）		77千円		
	○会計年度任用職員任用経費（育休代替：保健師2人）		7,489千円		○負担金		428千円		
	○職員旅費（保健師管理期研修会、市町村栄養士研究会等）		73千円		・京都府栄養士会負担金		14千円		
	○需用費		65千円		・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金		369千円		
	・消耗品費（書籍、研修会資料代ほか）				・国保連合会電算システム改修負担金		45千円		
	○負担金		1,874千円		○返還金		2,105千円		
	・京都府栄養士会負担金		15千円		・過年度母子保健衛生費国庫補助金返還金		755千円		
	・京都府市町村保健師協議会負担金		38千円		・過年度未熟児養育医療費負担金返還金		63千円		
	・市町村栄養士研究会負担金		3千円		・過年度出産・子育て応援交付金返還金		913千円		
・健康管理システム共同利用負担金		1,781千円		・過年度児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金返還金		374千円			
・国保連合会電算システム改修負担金		37千円							
○返還金		2,420千円							
・過年度感染症予防事業費等国庫補助金		1,156千円							
・過年度京都府後期高齢者医療広域連合補助金		1,264千円		成果・課題	○会計年度任用職員を任用することにより、保健事業を円滑に実施することができた。 ○研修会等へ参加することができ、保健師や栄養士などの専門職に必要な知識を習得することができた。				

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部			
	項	01 保健衛生費	1,180千円		1,302千円	122千円	90.6 %					
	目	02 保健対策費					(参考)当初予算額	課	健康推進課			
	事業	01 健康づくり・食育推進事業				1,339千円						
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）			115千円				
				府補	消費・安全対策交付金（1/2）			287千円				
目的	健康づくり推進員、食生活改善推進員の育成や養成を行い、健康づくりや食育の普及啓発にかかる地域活動等を支援することにより、市民主体の健康づくり及び生涯を通じた食育を推進する。			諸収入	京都府後期高齢者医療広域連合連携強化事業補助金			14千円				
				諸収入	市有自動車損害共済金			196千円				
主要な事務・事業の概要	<健康づくり事業>		490千円		②施策の方向Ⅱ「地産地消・食文化」							
	①健康づくり推進員（第8期健康づくり推進員の育成・活動支援）				○食文化伝承推進事業（16回）							
	・健康運動指導士謝金		17千円		・食生活改善推進員謝金						192千円	
	・健康づくり推進員活動費（3千円×40人）		120千円		○お魚料理教室（小学校5年生）4回【所管：海業水産課】							
	・消耗品費（名札ほか）		16千円		・漁協婦人部講師謝金						60千円	
	・役務費（研修会案内等の郵便代ほか）		38千円		・消耗品費（材料代ほか）						36千円	
	②歩いてすすめる健康づくり（Let'sチャレンジウォーキング等）				・包丁研磨手数料						17千円	
	・消耗品費（丹後万博啓発グッズほか）		103千円		○子どもクッキング（小学生対象4回）【所管：子育て支援課】							
	・修繕費（公用車の事故に伴う修繕）		196千円		・栄養士謝金						12千円	
	<食育推進事業>		690千円		・通信運搬費（案内郵送代）、消耗品費（案内用紙代ほか）						19千円	
	①施策の方向Ⅰ「共食・朝ごはん・食事バランス」				○食育推進ネットワーク（関係機関・13団体、庁内7課で構成）							
	○食生活改善推進員の育成研修（5回）、伝達講習会（11回）				・委員費用弁償						2千円	
	・消耗品費（研修会材料代ほか）		108千円		・通信運搬費（会議案内代）						1千円	
	・食生活改善推進員謝金		66千円		成果・課題	○Let'sチャレンジウォーキングでのアプリの活用、イベントでのクイズやパネル掲示により、幅広い世代へ働きかけを行うことで健康意識が高まった。						
	○食育プログラム作成及び啓発資料印刷代（団体及び保護者用）					○健康づくり推進員の育成が進み、地域の活動が活発化してきている。引き続き、地域において活動しやすいよう後方支援を行うことが必要である。						
	・印刷製本費		73千円			○食生活改善推進員の確保には課題はあるが、様々な活動を通し、学校や地域において、食育支援や食育の普及啓発を行うことができた。						
	○朝ごはんノート等印刷代（4・5歳児）【所管：こども未来課】											
	・印刷製本費（朝ごはんノート、ランチョンマット）		104千円									

予算科目目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 保健衛生費	1,202千円		1,267千円	65千円	94.8 %				
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額	課	健康推進課		
	事業	01 健康相談・指導事業					1,337千円				
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	府補 健康増進事業費等補助金（2/3）197千円							
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に、健康に関する知識の普及啓発及び健康相談・健康教育を行い、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。										
主要な事務・事業の概要	検診結果をもとに、疾病の予防・健康の保持・増進、医療機関の早期受診につなげることを目的として、保健指導及び栄養指導を実施した。 ○結果報告会 1,129千円 【実施内容】令和6年6月27日～令和6年10月16日（41日間） 11会場（施設及び健康推進課）で、814人に個別指導を実施。 【内訳】結果報告会：723人、窓口返却：88人、訪問：3人 ・消耗品費 102千円 ・印刷製本費（各種封筒、リーフレット印刷） 211千円 ・通信運搬費（検診結果郵送料） 816千円 ○生活習慣病重症化予防事業（慢性腎臓病対策事業） 39千円 ・消耗品費（個別指導用パンフレット） 9千円 ・通信運搬費（案内・連絡票郵送料） 30千円 ○歯周病疾患予防事業 16千円 ・消耗品費（指導用パンフレット）				○骨粗しょう症予防対策 18千円 京都府国保連合会より超音波骨量測定装置を借用し、骨密度測定を実施。 集団教室では、骨粗しょう症の予防のための食事や運動に関する講話を実施。 7会場（4日間）：34人の参加 ・通信運搬費（骨密度測定機器借用運搬代：3回分）						
	成果・課題	○結果報告会終了後のアンケートでは、約9割(464人中418人)の方が「自身の健康について考えることができた。」と回答しており、市民の健康づくりや生活習慣病予防の推進につながった。 ○要医療判定者やがん検診で要精密検査となった方には受診勧奨を行い、実際の受診につなげることができた。 ○健康への関心が低い方へのアプローチが課題であるため、検診会場では、特定保健指導等の説明パネルを掲示するなどの工夫をしていく必要がある。									

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	109,600千円		109,643千円	43千円	99.9 %		課	健康推進課
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額			
	事業	03 総合検診事業					115,626千円			
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）				43千円	
目的	がんや疾病を早期発見と、健康管理の意識を高めることにより、生活習慣病の予防につなげる。			府補	健康増進事業費等補助金（1/2、10/10）				2,736千円	
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				20,000千円	
				繰入金	再編交付金事業基金繰入金				20,000千円	
				諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金				8,088千円	
諸収入	京都府後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業費補助金				89千円					
主要な事務・事業の概要	健康診査と各種がん検診を同時に受けることのできる総合検診として、地域の体育館等で実施した。				○事業費					109,600千円
	【実施期間】 令和6年5月15日～8月20日（11会場：39日間）				・消耗品費（資料等用紙代、感染症対策物品等）					67千円
	【検診項目及び受診者数】				・燃料費（送迎車ガソリン代）					3千円
					・印刷製本費（申込書、検診案内チラシ、案内等封筒）					274千円
					・通信運搬費（申込書、受診票、精検未受診者勧奨通知等）					1,849千円
					・検診委託料					107,019千円
					・バス運転委託料					20千円
					・総合検診会場設営委託料					368千円
					成果・課題	○要精密検査者に対しては、個別面談や電話による受診確認、書面での受診勧奨を行い、医療機関への受診につなげることで、がんの早期発見及び前がん状態の発見に寄与した。				
						○今後も効果的な受診勧奨の方法を検討し、総合検診及びがん検診の受診者増加を目指すとともに、精密検査未受診者への個別受診勧奨を継続し、疾病の早期発見、早期治療につなげていく必要がある。				
※40～74歳の国保加入者は、特定健診対象者として国保特別会計で計上										
※前立腺がん検診受診者のうち国保加入者は、国保特別会計で計上										

※40～74歳の国保加入者は、特定健診対象者として国保特別会計で計上

※前立腺がん検診受診者のうち国保加入者は、国保特別会計で計上

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	83,413千円		83,473千円	60千円	99.9 %		課	健康推進課
	目	05 予防費					(参考)当初予算額			
	事業	01 成老人の予防接種事業					49,856千円			
基本計画		08 生涯にわたる体とこころの健康づくり	主な財源	国負	予防接種健康被害給付費負担金（10/10）				221千円	
				国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）				908千円	
目的	高齢者等における感染の恐れがある疾病の発生及び感染予防、発病防止、症状の軽減、疾病のまん延防止のため、予防接種法に定める個別予防が中心の予防接種を実施する。				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				29,000千円
					繰入金	再編交付金事業基金繰入金				700千円
					諸収入	新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金（接種者×8,300円）				22,576千円
主要な事務・事業の概要	○需用費			726千円	○予診のみ（未接種者分 インフルエンザ17人、コロナ8人）					77千円
	（パンフレット、予診票用紙、各種消耗品、予診票印刷ほか）									
	○予防接種案内通知郵送料			789千円	○扶助費（B類疾病に係る償還払い）					447千円
	○国保連合会審査支払手数料			24千円						
	○高齢者インフルエンザ予防接種委託料			40,233千円	○予防接種健康被害給付金					732千円
	○高齢者新型コロナワクチン予防接種委託料			37,783千円	※予防接種による健康被害が認定された者へ支払われる医療費・医療手当					
	○高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種委託料			953千円						
	○麻しん風しんワクチン予防接種委託料（風しん追加的対策）			417千円	○過年度国庫支出金返還金					537千円
	○風しん抗体価検査委託料（風しん追加的対策）			695千円	・新型コロナワクチン接種対策費国庫負担金					245千円
					・新型コロナワクチン接種対策費国庫補助金					292千円

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	4,453千円		4,487千円	34千円	99.2 %		
	目	05 予防費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	03 感染症予防対策事業					5,279千円		
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 4,000千円					
目的	新型コロナウイルス感染症対策として、必要な環境を整え、感染防止を図る。								
主要な事務・事業の概要	○新型コロナウイルス感染症対策用物品購入経費 （手指消毒液、ハンドソープ等）				2,382千円				
	○次亜塩素酸水運搬事業 ・消耗品費（VOX専用電解溶液） ・燃料費（運搬車両分） ・修繕料（運搬車両分） ・手数料及び保険料（運搬車両分） ・委託料（次亜塩素酸水生成等業務、装置保守点検） ・公課費（自動車重量税）				2,071千円 62千円 181千円 85千円 37千円 1,701千円 5千円				
			成果・課題	○公共施設等へ消毒用の次亜塩素酸水を配送し、市内における感染防止対策に努めた。 ○感染症対策物品を購入・整備することで、利用者及び職員の安全・安心を確保しつつ業務を継続することができた。					

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	476千円		1,430千円	954千円	33.2 %		
	目	05 予防費					(参考)繰越予算額	課	健康推進課
	事業	04 新型コロナウイルスワクチン接種事業（繰越）					1,430千円		
基本計画	08 生涯にわたる体とこころの健康づくり		主な財源	国補 新型コロナウイルス接種体制確保事業補助金（10/10） 42千円					
目的	新型コロナウイルス感染症対策として必要な環境を整え、感染防止を図る。								
主要な事務・事業の概要	○産業廃棄物処理手数料		42千円						
	○審査支払手数料		3千円						
主要な事務・事業の概要	○予防接種委託料		431千円						
			成果・課題	○国保連合会を通じた予防接種委託料や審査支払手数料及び不要となった新型コロナワクチンの処分については、国の指示により令和6年度以降の事務処理として実施した。 ○スケジュール通り、ワクチンの廃棄処分も完了し、特例臨時接種事業は終了した。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 商工費	7,438千円		7,649千円	211千円	97.2 %		
	目	01 商工総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	02 消費生活推進事業					7,125千円		
基本計画		11 防犯・交通安全対策の推進		府補	消費者行政活性化事業費補助金（人件費定額、1/2）				4,353千円
目的	消費生活相談員を配置し、情報化社会の進展、在宅やオンライン利用時間の拡大により、巧妙化、増加する消費者トラブルや多重債務等の相談に対し、弁護士等の専門家と連携して助言やあっせんなどの対応を行う。また、消費生活学習グループの地域見守り活動を支援し連携することで、トラブルの未然防止と早期解決を図るとともに、啓発活動や消費者教育を推進する。				主な財源				
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（消費生活相談員・2人）			6,901千円	○消費生活学習グループ活動				
	○報償費			40千円	【会員数（令和7年3月31日現在）】80人				
	・消費者教育講座講師謝金・消費者啓発活動謝金				峰山16人 大宮20人 網野7人 丹後17人 弥栄6人 久美浜14人				
	○補助金			250千円	【活動内容】				
	・消費生活学習グループ活動費補助金（補助率：2/3以内）				・各支部啓発活動（74回）				
	○その他経費			247千円	峰山11回 大宮13回 網野11回 丹後15回 弥栄14回 久美浜10回				
	・消費生活相談員研修等旅費、職員旅費			54千円	・消費生活学習会、視察研修等の実施 ※各支部ごとに実施				
	・通信運搬費（電話代）			79千円	・クリーン活動（9回）				
	・公用車維持経費（燃料費、テレビ受信料等）			40千円	峰山1回 大宮2回 網野1回 丹後2回 弥栄1回 久美浜 2回				
	・消耗品（事務用品、参考図書、子ども教室資材等）			68千円					
	・負担金（消費生活相談員研修講座負担金等）			6千円					
	○消費生活相談など								
	【相談】345件				成果・課題	○専門相談員が、出前講座や久美浜有線放送等を活用した情報提供の機会を多く作り、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与できた。			
	【出前講座】33回（参加人数438人）					○情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、市民の消費トラブルに対する知識と意識を高めることができた。			
	【消費生活セミナー】1回（参加人数44人）								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市民環境部		
	項	01 保健衛生費	2,315千円		2,347千円	32千円	98.6 %				
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額				
	事業	02 高齢者フレイル予防事業【再掲】					3,480千円	課	保険事業課		
基本計画		09 地域包括医療・ケア体制の充実	主な財源	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金	882千円					
目的	介護予防と生活習慣病の発症予防・重症化予防等により健康寿命の延伸を図るため、保健師等の医療専門職を配置し、国保データベースシステムの活用によって、地域の健康課題の分析・対象者の把握をし、地域の関係団体や介護・国保との連携によって、高齢者の特性に応じた保健事業を一体的に実施する。また、歯科健診を実施し、口腔機能の低下や肺炎などの疾病を予防する。			諸収入	後期高齢者医療保健事業委託金（10/10）	1,047千円					
				諸収入	市有自動車損害共済金	123千円					
主要な事務・事業の概要	京都府後期高齢者医療広域連合の委託を受けて取り組む「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」事業。病気・フレイル等のリスクが高い方への個別支援と、集いの場に出向いて健康教育や健康相談を行う集団支援を実施する。 【所管：健康推進課】				1,170千円				【所管：保険事業課】		1,145千円
									＜個別支援（ハイリスクアプローチ）実績＞		
			対象者	介入者	介入率	○国保データベースシステム関連経費		523千円			
	重症化予防対策（糖尿病性腎症・高血圧症）		193人	188人	97.4%	・データ管理手数料		511千円			
	栄養改善推進事業（低栄養）		143人	125人	87.4%	・保険者端末保守管理負担金		12千円			
	健康状態不明対策		214人	207人	96.7%	○後期高齢者歯科健診経費		622千円			
	＜集団支援（ポピュレーションアプローチ）実績＞				令和7年3月末までに76歳になられる方を対象に、市内協力歯科機関で歯・歯肉の状態や口腔機能状態等をチェック						
	高齢者の集いの場で、フレイルチェックシート（市独自作成）を活用したフレイル予防の健康教育とハイリスク者の相談・支援を実施 回数：10回 対象者数：157人				実施期間：令和6年7月～令和7年1月末 対象者：946人 受診者：97人						
	○地域担当人件費				788千円				・需用費（消耗品費、印刷製本費）		55千円
	・会計年度任用職員任用経費（保健師1人及び管理栄養士1人）								・通信運搬費		88千円
○地域担当の活動に要する経費				382千円				・後期高齢者歯科健診委託料		479千円	
・需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、修繕費）				339千円				成果・課題	○個別訪問により高血圧者の約6割、高血糖者の約8割を医療に繋げることができた。また、低栄養者や健康状態不明者へ訪問支援を行い、健康状態を把握し必要な支援へ繋げることができ重症化防止につながった。 ○ポピュレーションアプローチでは、地域への周知が課題であるが、年度初めに福祉委員への事業説明を重点的に行うことで実施団体が増加し、より多くの方にフレイル予防を行うことができた。 ○歯科健診により口腔機能の低下や肺炎等の疾病予防に寄与した。		
・通信運搬費				43千円							